大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

四月六日 刊

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)二二二五 營業局專用(3)二二〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

御訪日記念日を 満洲國皇帝御追憶
植田軍司令官を御訪問御會談遊ばさる

昭和十年四月六日 満洲國皇帝陛下が友邦日本を御訪問あらせられ、東京驛頭に於て 天皇陛下と歴史的御握手を交へさせられてこゝに一年、満洲國の國礎はいよ〱固く兩國の親交は益々深まりつゝある、満洲國ではこの意義深き日を永遠に記念するため御訪日記念日として祝賀することゝなつたが、その第一回の記念日を迎へ六日 皇帝陛下には植田軍司令官を官邸に御訪問遊ばされ、約一時間に亘り軍司令官と御會談遊ばされた、この日陽光麗かな沿道に日満兩國旗春風にはためく午前十一時四十分 皇帝陛下には張侍從武官長、工藤侍衛官長等を扈從せられ宮内府御出門、同五十分植田軍司令官の出迎を受けさせられ官邸に御到着、正午植田軍司令官と共に御會食の後、林出行走の通譯で約一時間 天皇皇后兩陛下 皇太后陛下、各宮殿下と御面接あらせられた當時の追憶にふけらさせられ、午後二時四十分宮内府に御歸還遊ばされた

ソ蒙相互援助條約調印に 満洲國政府決意表明
ソ聯の暴擧に對しては 獨自の立場から自由の行動に出づ

ソ蒙相互援助議定書の正式調印に對し満洲國外交部は六日午後一時左の如き當局談を發表し、今回ソ聯政府が軍事同盟にも等しき條約を外蒙と締結し東洋赤化の積極的意圖を露骨に表したるに對し、東洋和平保持の見地から満洲國は重大關心を有すると共にかゝるソ聯の暴擧に對し獨自の立場から自由の行動に出づる決意を表明した

ソ聯外務當局の日本大使に對する言明に依るに今回ソ聯と外蒙との間に相互援助議定書の調印を見たる趣なる處從來ソ聯は華府九國條約の加盟國に非ざるを以て自由に支那を侵略し得るとの立場を取れるものなるやも知れざるも一面國際聯盟の一員たり又他國の土地は一寸にても侵略せずとのスターリンの聲明あるに鑑み外蒙に關しては一九二四年のソ支條約第五條を遵守し之を支那の構成部分と認め其の主權を尊重し且つ同地に駐兵せざるべきものと一般に思考されたる次第なるが今回愈々相互援助議定書なるカモフラージの下に外蒙を名實共に把握せんとする意圖を露骨に表明せるものと云ふべく外蒙が現在ソ聯以外の總ての外國即ち支那とすらも隔絶せられある現狀に於ては斯る議定書の成立は實質的にはソ聯が外蒙を併合せると殆ど擇ぶ所なく庫倫の一部政權と結托し外蒙一般人民の意思を蹂躙せる此の暴擧は世界の公憤に値する所にして殊に相互援助と云ふも其實質は日満兩國に對する軍事同盟と認むべく當國として特に重大なる關心を禁じ得ざる所なり

×

更に右相互援助議定書は形式的に之を見るも既に相互援助と稱する以上公然前記ソ支協定第四條第五條を無視する結果となり又實質的には外蒙を東亞赤化の根據地と化するものにして同地域と長き境界線に依りて相接し且つ血族關係を有する當國として固より承認し得ざる所なるが中華民國としても同樣當然默視し得ざるべき重大事態なり然るに南京政府は右に對し何等の手段をも講じ居る樣樣なきが若し同政府にして今後も此の事態を默過するものとせば北支に於ける共産軍の活躍に對する南京側の不可解なる態度をも併せ考ふる時、右は南京政府がソ聯との間に當國の三倍にも達する外蒙及新疆の地域を赤色露西亞の魔手に委ねる代償として傳へらるゝ如き日満兩國に對し敵意ある秘密協定を結び東亞赤化を促進せんと意圖せるものと斷ずるの外なく果して然らば南京政府は東亞民族の公敵と云ふべく若し又同國として何等かの手段を取りたりとするも實力なき爲如何ともすべからざるものとせば吾國は日本國と共同して東亞の赤化を防止し其康寧和平を保持する爲獨自の立場に依り自由の行動に出づるの外なきに至れる次第なり

×

更に我國は外蒙の隣邦として且血族關係を有する國としてソ聯の同地域に對して有すると同等若は以上の關心と利害關係と發言權とを有するものにして、ソ聯が今回の如く公然外蒙内に於ける其の地位の確保することが許容さるるならば我國亦當然外蒙内に於て同樣の地位を獲得するの自由と權利を有するものと信ず殊に外蒙に於けるソ聯の地位の確保は直に同地方赤化勢力の强化となり我國を脅威する次第にて之に對し我國としては自己の安全を保障する爲隣接する外蒙の地帶に於て適切有効の手段を取るの緊要已むを得ざる場合あるべきこと勿論と謂ふべく、現に右議定書調印後客月下旬以降國境方面に於ける外蒙軍の満日守備隊に對する攻撃が愈々積極化し大規模となりつゝある事實は特に中外の注目を要する所なり

満洲國の現狀は 國都の躍進と一致
軍司令官記者團と初會見語る

植田軍司令官は六日午前十時軍司令官室において記者團と初會見をなし満洲國に關する所感を左の如く述べた

着任以來各方面の御厚情感謝する、未だ着任匆々で諸行事のため各方面の話は聞いてゐないが昨日は各部隊長に會つた、久し振り皇帝陛下にも御會ひし、その御健康、御英明な御姿を拜し大變嬉しかつた、満洲は新しい、満洲の前途は洋々たるものがある、三年前秩父宮殿下に隨行して來たときは所々に家があると云ふ狀態だつたが今度來てみると國都新京の建設は満洲國の建設と相俟つて着々進行しつゝあるが未だ〱諸般の施設も法令が出たばかりで實施の運びとまでは行つてゐない、たゞ新興満洲國の建設の現狀がこの國都の建設と一致してゐるのではないかとの感を深くした、私は諸般の事項を充分檢討し、實丸に即して實施し、建國の精神を體し前任司令官の方針にもとづきやつて行くのだ、本日 皇帝陛下にわざ〱御訪問を受ける申すまでもなく昨年の今日 皇帝が日本を訪問あらせられた實に意義深い日である、この日を更に一層有意義にするために之を一般に深く感銘せしめ今後益々この日を理解させたい

關東局總長は 當分武部部長が代理

【東京國通】關東軍司令官の更迭に伴ひ満洲國總務廳長長岡隆一郎氏は辭表を提出し後任に同總務廳次長大達茂雄氏の昇格を見ることゝなつたが關東局總長大野綠一郎氏も政府に辭表を表明して來たので後任に就て人選中であるが、適任者を得ることは至難なので當分は關東局司政部長武部六藏氏を總長代理にすることに内定した、尚は司令官の更迭よりこの外には満洲國關係人事には異動は行はない方針である

盛大な 歡迎裡に南大將凱旋
拜謁仰付られ勅語を賜ふ

【東京國通】關東軍司令官より參謀本部附に轉じた南大將は四日以來熱海に靜養中であつたが、六日午前七時四十八分熱海發特別凱旋列車で同十時十分東京驛着廣田首相、寺内陸相、謝満洲國大使、陸軍將星其他官民多數の盛大な歡迎裡に入京した、南大將は直ちに西尾參謀次長並に幕僚を隨へ凱旋將軍として二重橋正門より參内した、之と前後して曩に凱旋した岩越、清水、三毛、土肥原四中將並に藤田少將等も相次で參内した、かくて 天皇陛下には午前十一時表御座所に出御、閑院參謀總長宮殿下を始め奉り寺内陸相、宇佐美侍從武官長等侍立の上南大將に拜謁仰付けられ同大將から在満中の任務を奏上、陛下より優渥なる勅語を賜つた 次で前記將軍以下幕僚等に夫々賜謁、一同は更に桐間に進み 皇后陛下に拜謁仰付けられ光榮に感激しつゝ御前を退下した

衆議院にも 改革運動起る
議院法改革と政黨信用回復

【東京國通】貴族院改革の聲に相應じて衆議院制度改革の聲が新しく起つて來た 勿論衆議院各派は齋藤内閣以來前後三回に亘つて常置委員會設定を中心とする議院法改正法律案を議員提出案として議會に提出し衆議院は何れも原案通り可決通過したが、貴族院は政府の反對言明を考慮し握り潰してしまつた、そこで衆議院は已むなく院議その他に依つて改正され得る極く小範圍の改善のみを實現し得たに止まつたが、廣田内閣成立により庶政一新の聲が政治の各部門に亘つて鬱然として起りしかも貴族院は早くも其内部から斷然貴族院改革實現の聲が起り來つたのに鑑み政民兩黨はじめ各會派も徒らに拱手傍觀すべき時ではないとして衆議院制度改革の聲が庶政一新の新しい衣をつけて叫ばれ出すに至つたものである、而して今回は前三回の如く政府と全然交渉をもたず議員提出案として一擧に解決する方法を取らず廣田内閣の庶政一新の氣構えと一方貴族院の貴族院改革の空氣を充分考慮に入れて政府、貴族院と密接な連絡をとり三者相提携して議會制度改革を實施する方針の下に來る特別議會に於て政府は議會の振肅のため特別調査會を設置し速かに立案の上次の通常議會に議員法改正法案を提出すべしとする意味の重大建議案を提出し政府に之が實行を誓約せしめる筈である、なほ衆議院各派で考慮せられてゐる改革案は議院法改正問題と政黨の信用回復方策の二つに大別されてゐる

戒嚴殘置部隊 衛戍地歸還

【東京國通】戒嚴司令部發表 戒嚴勤務に服しつゝありし甲府、佐倉より上京中の殘置部隊は今五日夫々の衛戍地に歸還する事となれり

久村中將離滿

【大連國通】満洲視察中であつた陸軍化學研究所長久村中將は四日大連出帆のあめりか丸で離満した

河邊大佐赴任

關東軍司令部第二課長から世田ヶ谷近衛野砲兵聯隊長に榮轉の河邊虎四郎大佐は五日午後四時發列車で板垣參謀長、東條司令官、大達總務廳長代理、大橋外交部次長、平島協和會次長ら日満官民多數の見送裡に赴任の途についた

西教育總監 軍醫學校診療部に入院

【東京國通】四日午後四時教育總監部發表―西大將は發病後約三週間を經過し略々順調に經過せるを以て四月四日午後一時陸軍々醫學校診療部に入院す、言語明瞭にして食嗜良好なるも睡眠時に不良のことあり、左上下肢共に知覺運動痲痺依然たり

満鐵初等教育部主任辻一氏を 大使館常駐

満鐵附屬地の満洲國移讓に伴ふ教育問題につき當局と事務連絡をはかるため満鐵は本社地方部學務課初等教育部主任辻一氏を大使館に常駐せしめることゝなり同氏は近日着任の豫定である

人事往來

▲李文炳氏（新京地區司令官）六日午前三岔河へ ▲宇佐美寛爾氏（鐵路總局長）同午後奉天へ ▲長川警視（鐵嶺警察署長）同鐵嶺へ ▲市川少佐 同ハルビンへ ▲蒲田精一氏（羅津港株式會社）六日午前京城へ ▲今城説次氏（満洲特産中央會）同東京へ ▲桑原和英氏（満鐵）同羅津へ ▲皆川重紀氏（石炭商）同ハルビンへ ▲鳥居好一氏（軍人）同内地へ ▲水江寛之氏（パレーダビットソン満洲販賣會社）同來京國都ホテル ▲隈元昂氏（満電）同 ▲熊野保氏（製藥業）同 ▲多門登氏（電業）同 ▲加藤泰氏（羅紗商）同 ▲栗山茂二氏（高等法院推事）五日午後承德へ ▲下釜寛二氏（魚菜會社）同ハルビンへ ▲齋藤茂一郎氏（鮮銀）同天津へ ▲小林仁氏（海軍大佐）同伯林へ ▲河合龜太郎氏（製陶業）同ハルビンへ ▲立花秀雄氏（同）同 ▲小幡治和氏（大阪府監察官）同市内へ ▲田中又五郎氏（大安興業）同奉天へ ▲橋詰勉氏（靈々會社）同ハルビンへ ▲川端源之進氏（水先案内）同來京國都ホテル ▲加々良乙比古氏（同）同 ▲桑島信司氏（國際運輸）同 ▲阿部虎男氏（早新縣參事官）同 ▲松崎宗次郎氏（朝鮮旅行案内所長）同 ▲太田正夫氏（陸軍通譯生）同 ▲泉哲氏（満鐵囑託）同來京名古屋ホテル ▲田中良三郎氏（陸軍少佐）同 ▲宮崎錦吾氏（同）同 ▲石田武亥氏（奉天商工會議所）同 ▲篠崎嘉郎氏（日満實業協會理事）同 ▲高木儀三郎氏（商業）同 ▲小林幸雄氏（同）同 ▲谷水善男氏（綿布商）同 ▲白石勝馬氏（會社員）同 ▲檜山三郎氏（請負業）同 ▲須見新一郎氏（陸軍中佐）同ハルビンへ ▲竹下義晴氏（陸軍大佐）同奉天へ ▲能勢潤三氏（陸軍少佐）同吉林へ ▲河野正一氏（協和會）同鐵嶺へ ▲谷村順藏氏（會社員）同午前來京ヤマトホテル ▲齋藤惣一氏（Y・M・C・A總主事）同 ▲佐藤俊久氏（哈市公署總務處長）同 ▲福島二一氏（官吏）同午後同 ▲小倉准氏（會社員）同 ▲岩城長治氏（キリンビール會社）同 ▲加來徹夫氏（満洲自動車運輸）同 ▲長永義正氏（大連商工會議所理事）同 ▲兒玉翠靜氏（奉天商工會議所理事）同 ▲田中知平氏（泰東洋行支配人）同大連へ ▲櫻澤吉藏氏（日本製粉）同奉天へ ▲田中喜代志氏（満鐵）同市内へ ▲三輪環氏（満鐵審査役）同吉林へ ▲大崎新吉氏 同大連へ ▲今中次麿氏（九大教授）同ハルビンへ ▲川島修氏（軍人）同公主嶺へ ▲有田宗義氏（哈市法律辨事所長）同ハルビンへ ▲山田靜吉氏（航空兵中佐）同大連へ ▲木村麻雄氏（會社員）同來京新京ホテル ▲高松菊次郎氏（商業）同 ▲大岩銀象氏（満鐵）同 ▲楠瀬正賞氏（陸軍少佐）同午前承德へ ▲俵少佐 同佳木斯へ ▲原錦氏（二等軍醫正）同承德へ ▲石井正己氏（同）同遼陽へ ▲和田義雄氏（陸軍大佐）同奉天へ ▲恒松正躬氏（商業）同奉天へ

團體

▲全日本學生卓球聯盟鮮満遠征團 六日午後三時四十分奉天へ ▲滋賀縣師範學校生三十二名 同二時着京、同十一時發ハルビンへ ▲新京中學北支視察旅行團 六日午後二時歸京

乳房ある悲み（五十）

（續上演上映） 中西伊之助 作　泉武久 畫

文化住宅（八）

玉汝は兄の言葉をきいてから後一生涯結婚しない決心をしてゐる。殊に、兄の齊が自分のために犠牲となつて四十幾つの今日まで獨身でゐることがやつと判つた。それに就じても、彼女は結婚するに忍びないと思つてゐた。

父の遺言を守るがために、妹の幸福を考へて、一生獨身で暮さうとしてゐる兄――。その兄の心中を考へると、玉汝は兄が神の如く尊く思はれた。この兄に仕へて自分は一生涯獨身で暮さう！

希望のない久遠闇――。それが齊と玉汝兄妹に課せられた宿命であつた。

玉汝は、夜空を仰ぎながらぼんやりと花畑の中に佇つてゐた。

背後の部屋の中では、ダンスがはじまつた樣子である。書齋と八疊の仕切りを除いて一個のダンスホールが拵へられ、レコードの音樂が響いて來た。

玉汝は振りかへつて明るく電燈のついた部屋を眺めた。

三人の女に四人の男――女達はいづたもかなり達者に踊る方であつた。

想像してゐた如く、華代子は例の文士の榊原と組んでゐた。喬と萬里子、客の一人は登美子と組んでゐた。他の一人の客は、そんなことができないのか、それとも、レディのないためか、窓際にもたれて煙草を吹かしてゐた。

レコードの廻るのに伴つて三組のダンサー達は、活動寫眞のやうに踊り廻つた。

自分とは全くかけはなれた天上の世界を觀るやうな氣持で、玉汝はそれをぼんやりと觀てゐた。

と、玉汝のゐるすぐ向ふの暗がりで、二人の男がドタバタと格闘してゐる姿が彼女の眼に入つた。

『おや！』

と玉汝は驚いて、その方に眼を向けた。

二人の男は、默りこくつてフウフウと野獸のやうに荒い息を吹きながら、組んづほぐれつ、上になり下になつて、一方の窓に映る華やかなダンサー達の影法師と對照して、文明と野蠻とを背と腹とに見るやうな奇現象であつた。

格闘してゐる一方が一宮で一方が華代子達のつれて來た書生の塙であることをしると玉汝は驚いてかけつけた、そして二人を制した。

突然玉汝の姿が現れたので二人は急に格闘をやめた。一宮が塙の體の上に馬乘りになつて、塙の頭を地べたに押しつけてコツ〱と小突いてゐたところであつた。

『どうしたんです、喧嘩なんかして？』

と玉汝は呆れた。

『なあに、此奴失敬な奴ですよ！』

と一宮が憤慨して、苦しさうにいつた。

『だつて、喧嘩なんかしちや惡いわ』

『え、でも、此奴酒に醉拂やがつて、僕が本を讀んでゐるのに、踊れ踊れつて僕の手をグイグイ引つ張りあがるんです！僕アこんなヘンな野郎と踊りなんか眞ッ平だ！』

『ほ、ほ、ほ……』

と玉汝は笑つた。

『僕アうるさいッつて突きとばしてやつたら、此奴、何、居候めッて僕の横面を引つぱたきアがるんですよ、この野郎こそ大垣先生の家の居候ぢやありませんか！』

一宮は益々憤慨していつた。

『まあ、いゝわ、そんなこと塙さんも人が勉强してゐるのに邪魔しちやだめよ、だからあなたはいつまでたつても辯護士になれないのよ』

『こんな奴は辯護士なんかになれない方がいゝんですよ、こんな惡い事をするかわからないから！』

雨あがりの泥濘の中へ顔を押しつけられて、塙は土龍のやうな顔をして泣きべそをかいてゐた。

御訪日一周年を迎へ 皇帝陛下の御日常を語る

林出行走謹話

東洋史に燦として輝く御訪日の盛儀に御出發遊ばされて滿

一年、去る年の今日こそ皇帝陛下には盟邦日本への御一歩御舊知秩父宮殿下との御對面東京驛頭に於る 天皇陛下との歴史的御握手、宮城御參入天皇皇后兩陛下との御交歡、勳章御贈進 天皇陛下の御答訪、豐明殿晩餐會等寸暇もあらせられず數々の重き御使命の御一日を御過し遊ばされた日である、畏くも 陛下にはこの歴史的不朽の日を卜して催された植田司令官の記念祝賀午餐會に臨場遊ばされたが感慨の程如何ばかりかと拜するだにかしこき極みである常に御側近に奉仕し御訪日に際しては御通譯の光榮に浴した林出書記官は一年前の御床しき御行事を回顧し奉ると共に最近の皇帝陛下の御日常について謹んで語る

□

陛下が御訪日によつて得られた御感銘の程は御歸國後直ちに回鑾訓民詔書を御煥發遊ばされ「朕日本天皇陛下ト誠心一體ノ如シ」と仰せられ日滿不可分關係强化のため御躬ら範を垂れ給はつた不可分關係の御信念は御出發前も常に御胸にあり御往路怒濤甲板に碎ける九州南方の沖合では左の如き御製に托されて日滿兩國親善の顯現を御高調、觀光第二、使命第一を御洩らし遊ばされて居る

萬里雄航破飛濤
碧蒼一色天地交
此行豈僅覽山水
兩國申盟日月昭

又御高遠なる御理想は同じく海上で左の如き御製あり日滿兩國の親善こそ東洋の平和建設に不可缺のものである意味を御示し遊ばされた御信念の御透徹さは申すだにかしこき極みである

海平似鏡
萬里遠航
兩邦携手
永固東方

御訪日の一周年を御迎へ遊ばされた陛下には數日前來側近者を召され春宵を當時の御憶出に過される日も多く殊に日本皇室に御歡待、熱誠心からなる國民の歡迎については數多くの御言葉あり、御感慨殊の外と拜察される三笠山に行幸の際四千の學童がおぼろにかすむ春宵の三笠山を提灯の火で掩つて御歡迎上げた際陛下には

三笠山前夜色
春風吹萬乾坤昭
遥樓遠眺千炬動
朗月交輝麗九霄

と「人の誠天に通ず」の御意味に拜せられる御製を御詠み遊ばされたが當時の御心境を御物語るものである、又櫻の美を讚へられて

今迄も本で讀み人に聞き寫眞、繪で見たが去年始めて見た日本の櫻の美は今も忘れがたいものである

と仰せられて百聞一見に如かずを言外に御もらし遊ばされて居る

御訪日の際朝野よりの御歡迎を物語る數々の品々は今も尙御側近く陛下の御追憶を新にし奉つてゐるが殊に 皇太后陛下よりの御贈進の象の置物明治大帝より 皇太后陛下に賜り更に皇帝陛下に御贈進になつた陶器製の置物は御謁見の間にお飾り遊ばされて常に御賞覽あらせられ先日も南大將の離滿挨拶言上の際も此の置物について種々御物語りがあつたと洩れ承る、又同じく皇太后陛下より御贈進の煙草セツトも宮中の何處の室にも御附きの者が捧持して常に御離し遊ばされず當時の御追憶に限りなき御なつかしみを感ぜられて居られるかの如く拜される

一條橋々畔に四個の男女兒遺棄死體

いづれも貧困滿人の仕業 日曜日午後のグロ

日曜で人出の多かつたきのふ午後五時半ごろ一條橋詰梅ヶ枝町川岸に

黑山 の如く集つた野次馬たちがいづれも目をそむけつゝ通り過ぎていつた、それもその筈所もあらうに國都花街の近くに男子三名、女兒一名の死體が遺棄されてゐたのである、屆出に接した新京署から署員が現狀に至り檢視すると川岸の石かげにぼろ〳〵の滿人衣服に包まれた四才位の女兒、二才位の男兒が轉つており三尺程隔てゝ生後二、三ヶ月と思はれる男子の死體二個が全身裸で胸に「四月四日死す」と認めた紙片が附いて居り餘りのグロ的な死體遺棄に係官も面喰つてゐた、檢視の結果いづれも極度の營養不良で女の一人は腸結核の症狀も認められたが貧困滿人が

病死 せる子供たちを捨て場所なくてこゝに捨てたものと見られてゐる

狂犬五名を咬む

長春寺飼犬狂犬に咬まれたと屆出でたものが六日正午までに左の五名あつた

▲曙町四丁目二番地白石泰子さん（八）▲同番地中澤保雄（一九）▲入船町三丁目十七番地金井洋服店方鄭戴榮（三九）▲東二條通り六番地の二金農周（二九）▲城内東三道街五號地胡秉恒（二五）の五名であつた

麻雀選手權 國澤氏の手に

本社後援 第四回選手權大會終る

迎春に相應しい催しとして全滿の雀人より期待された本社後援新京麻雀同業組合主催第二回オール滿洲麻雀選手權大會は三日午後一時から公會堂ホールで擧行された、全滿から集る選手のうちにはうら若い女性や滿人、朝鮮人の參加もあり會場はさながら五族協和の良き風景であつた、定刻午後一時制覇の雄圖を心に秘めた選手堂々入場、指定の卓子につけば司會者小山氏の開會の辭井上大會委員長、絹川審判長の挨拶について本社員の大會に就ての訓示を終り愈々大會二年史を飾る選手權爭覇の火蓋は切つて落され三莊戰は午後八時終了した、次いで本社寄贈の優勝盃並に賞品の授與式があり同八時三十分閉幕した入賞者左の通り

選手權保持者一位國澤氏（九〇〇〇）準選手權保持者二位市原氏（九〇〇〇）三位奧田氏、四位森氏、五位宮本氏、六位豐田氏、七位高須氏、八位植田氏、九位奧白谷氏、十位坂田氏、十一位藤井氏、十二位島村氏、十三位室園氏、十四位臼坂氏、十五位佐々木氏、（以下クラブ發表）

傷病兵凱旋

來る八日午後三時四十分着列車で哈爾濱から傷病兵三十五名到着、新京衞戍病院から轉療の二名を加へ三十七名同四時發列車で南行する

草花用肥料 安價に頒布

新京滿鐵地方事務所では市民の庭園をうるほすため草花、野菜類の苗を低廉に配付することになり一般の好評を博してゐるが更に草花用の肥料も極く低廉に配布することゝなつた、肥料は草花用として特に製造した埋肥で値段は麻袋入り正味十六貫二十錢で各希望者の家庭まで屆ける由、在庫は約一千五百袋で申込み先着順に配布する、希望者は至急地事社會係まで申込まれたいと

練習艦隊乘組員 八日來京

練習艦隊司令官吉田善吾中將一行は練習艦隊磐手、八雲乘組准士官以上四十四名、士官候補生百七十九名と共に八日午前八時着列車で來京、駐滿海軍司令部の案内で新京神社忠靈塔を參拜、滿洲國皇帝陛下に謁見、一泊九日午前九時十分發列車で哈爾濱に赴く豫定であるが准士官以上及び候補生一行は市内を見學し八日午後四時發列車で離京の豫定である因に司令官一行の氏名は左の如くである

司令官中將吉田善吾、八雲艦長大佐中村俊久、艦隊機關長大佐宮田一、磐手艦長大佐角田覺治、艦隊軍醫長大佐原田福象、同主計長大佐藤田傳次、艦隊副官少佐鹿沼隆、同參謀大尉土肥一夫

オリムピツク東京開催は好適

ラツール伯視察總結果發表

【東京國通】國際オリムピツク委員長バイエ・ラツール伯は去る三月十九日來朝以來東京オリムピツク大會開催の可否を決する重大な資料を蒐めるため各方面に亘つて深く鋭い視察懇談を續けてゐたが、大阪、京都等の視察を最後として多忙なスケジユールを終り五日夜歸京した、六日午前上野驛發日光の春色を探つた上九日横濱解纜の秩父丸で米國經由歸國の途に上る豫定であるが伯は七月ベルリンで開かれる次期大會開催地決定の委員會で發表する報告書を作製する他委員長と云ふ名が今回の視察に對して與へる誤解や臆測を一掃する爲に五日同盟通信社を通じて全日本の新聞に對して次のやうな視察總結果を文書で發表した、その內容は東京に對する充分な滿足を示すと共に招致問題に對して辛辣な警告を含んでゐる發表要旨左の通り

一、競技場の設備は完全だと云へる、芝浦のスケート場の如きはヨーロツパにも澤山はみられない立派な設備だと思つた

一、日本が毎回オリムピツクに優秀なチームを送つてゐることから考へても其オリムピツクに對する精神を充分察知し得る、又組織の點でも人員の點でも充分だと考へるし會談の結果大會開催に關して現在足りぬところを充分諒解してゐることが解つた

一、私が横濱に到着した時小學校の兒童がオリムピツク旗を振つて歡迎してくれたこの一時は全日本の國民のオリムピツク並にスポーツに對する深い理解を示すものだと考へるしその點私は充分滿足である

一、歐洲諸國との距離が長いので遠征に多くの時間を要するのが主要な缺點である最も濠洲、南米、ニユージーランド等歐洲への距離が同樣にある事を考へれば考へ直す事も出來ぬではない他の缺點は容易に解消することが出來ると思ふ

一、東京招致委員會の仕事は私を視察せしめた事によつて終つたと思ふ、爾後は總ての裏面工作を排し堂々ヘルシンキとの比較をなされた上委員會の決定を持つべきであらう

鹽飽、相良兩選手

マラソン世界記錄を更新

【東京國通】日本陸上競技聯盟主催オリムピツク男女候補選手記錄會は五日午後芝公園トラツクで擧行された、廿哩短縮マラソンでは鹽飽、相良兩選手は一九三四年英國のクロスランド選手によつて作られた世界記錄一時間五十一分五十四秒を見事に破り實に四十二年振りで世界記錄を更新マラソン日本の意氣を高くした

△廿哩短縮マラソン

一着 鹽飽（四國青年）一時間五十分卅二秒（世界新記錄）

二着 相良（麻布體育クラブ）一時間五十一分廿七秒（世界新記錄）

然も一着から五着までその差が三分を出ない接戰振りを示した

來る十九日 コート開き

新京體育聯盟庭球部のコート開きは十九日午前九時から西公園コートに於て開催されるが出場チームはオール新京十二組、滿洲國側十二組都合二十四組の豫定で試合は紅白試合にて行はれる、なほ庭球部本年度の入場料は定期券（一ケ年分）軍人學生女子一圓、一般二圓、滿鐵社員一圓五十錢である

市政生れて三周年 盛んな記念式

功勞者表彰、市民申合發表 來る十九日に擧行

輝かしい王道國都をモツトーに新京特別市公署が二十萬市民のために開廳されてから、こゝに本年を以て滿三周年を迎ふることになつたので、來る十九日の市政記念日をトして盛大な記念式で擧行されることゝなつた即ち當日は午前十時半自强小學校內で各方面から來賓多數參列の下に擧行政處長の開式の辭に始まり主催者として韓市長の式辭があり來賓を代表して呂民政部大臣、中野總領事代理、王自治委員長それ〳〵祝辭を述べ終つて市政功勞者を表彰して萬歲を三唱、閉式の豫定で、なほこれを機會に新京特別市々歌を制定すべく適當な名士に依囑することになつてゐるほか、さきに市公署に於て成案を練つてゐた「市民申合せ」を發表し、全市民はこの申合せの下に一致協力國都の王道化に邁進しやうといふので多大の期待がかけられてゐる

早大軍を迎へ あすラ式蹴球

中銀グランドの肉彈戰

遠來の早大ラグビー軍を迎へ對滿洲國の試合は七日午後四時から中銀グランドで花々しい肉彈戰が擧行される、これより先滿洲國軍政部軍樂隊の國歌吹奏で早大軍は校旗を先頭に颯爽として入場、ついで滿洲國軍の入場終つて兩監督により日滿國旗の揭揚、會長阮文教部大臣の挨拶の後兩主將間に堅き握手が交され同四時三十分試合の火蓋は切つて落される

建國體操の レコード賣出す

滿洲國體育聯盟では建國體操普及宣傳の爲め過般來努力を續けてゐるが、今度建國體操レコード（國解並に樂譜（日本語及び滿語解說）を添附全滿ポリドール販賣店に於て販賣させ始めた

新京中學四年生 修學旅行から還る

北支地方修學旅行中の新京中學校四年生一行八十五名は六日午後二時新京着列車で多數父兄教師に出迎へられて歸京した

クロスカンツリー 一着は于君 十五分十三秒

滿洲國陸上競技協會、新京體育聯盟共同主催の第一回斷郊競爭は午後二時南新京驛をスタートに行はれたが、シーズン初めての競技ではあり絕好の小春日和ではあり多數の觀衆は決勝點たる西公園前に蝟集し盛況を極めた、選手約三十名は滿人、日人一諸に南新京驛前をスタートし各自思ひ思ひのコースをとつて西公園前の決勝點に入つた、五等迄の入賞者左の如くである（距離約三千米）

△日人部

1伊東（市公署）十六分 2金 3美 4石原 5李

△滿人部

1于（文教部）十五分十三秒 2王 3郭 4欒 5歲

總裁令息來京

學校の休みを利用して來滿中の松岡滿鐵總裁令息松岡賢一郎君は六日午前七時着列車で來京滿洲國交通部勤務松岡滿雄氏宅に滯在國都の見學やなし北滿方面をも見學の豫定

多田地方課長

滿鐵地方部地方課長多田晃氏は關東局と事務打合せのため六日午前八時五十分着列車で來京、滯京中の地方部庶務課長神守源一郎氏は六日午後九時發の列車で歸社の豫定

城內職合會長に松田氏

新京特別市町內會の聯合町內會創立總會は五日午後二時から大經路滿洲國小學校に於て開催左の通り役員が決定した

▲會長松田鋼三郎▲列會長代田幹三▲同中村七之助▲幹事長井下郁也▲幹事尾崎靜馬▲松浦朗各町內會長、▲顧問淸水豐太郎、田中善平、都用又男

坂野參事官赴任

蒙政部翁牛特左翼旗參事官坂野龜一氏は七日午後二時あじあで新京驛發赴任す

長岡前總務廳長 留別宴を催す

長岡前國務院總務廳長は五日午後六時からヤマトホテルへ日滿各界の代表二百餘名を招待留別宴を張つたが席上長岡氏の告別挨拶來賓代表張國務總理長岡氏在任中の功績をたゝへ謝辭を述べ歡談一時間餘で散會した

愛知商業勝つ 對平安戰

【甲子園國通】愛知商業對平安中學の準決勝戰は午後二時から愛知先攻で開始されたが六對三で愛知商業勝つ、スコア左の如し

愛知	0	0	0	0	2	1	0	3	0	6—3
平安	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3—6

學聯軍勝つ 對滿洲國卓球

全日本學生學生卓球聯盟の遠征軍を迎へての交驩卓球大會は滿洲國體聯、滿洲國卓球協會主催で五日午前十時から新京商業學校講堂に於て行はれた、滿洲國卓球協會長李交通部大臣の開會の辭、兩軍の主將の握手終つて試合を開始し學生軍對滿洲國の一回戰、二回戰及び學生軍對全新京の試合を行つた、成績左の通り

△學聯軍對滿洲國第一回戰

學聯軍		滿洲國
○安井	3—0	周
○田村	3—0	千田
○青木	3—3	楊
○今	3—0	劉
○川村	3—0	富田
順	1—3	海野○
○田村	3—1	成田
青木	1—3	土村○

△學聯軍對滿洲國第二回戰

△同 第三回戰

○安井	3—1	海野
田村	1—3	土村○
○青木	3—1	土村

結局學聯側は今、川村、田村を殘して優勝續いて午後四時半よりオール新京對學聯戰が行はれたが六對二でこれ亦學聯優勝、午後七時半閉戰

早大大勝 對全滿選抜ラ式

38—9

【奉天國通】早大對全滿選抜チームのラグビー試合は五日午後二時より奉天實業グラウンドに於て全滿先蹴和田、淸水森三氏審判の下に開始結局三八對九で早大勝つ

早大三八〔一七—六／二一—三〕九全滿

令女パレス開店

豐樂路「鉢の木」は經營者變り「令女パレス」と改稱、昨四日各方面を招き披露した

あす（七日）

△第二十八回全滿商工會議所聯合會（於新京）
△早大を迎へラグビー戰、午後四時中銀グラウンド

今晚の主なる演藝放送

▲七・〇〇三曲「青柳」（東京）川瀨里子▲七・二五落語「お土產」（東京）春風亭柳橋▲七・五〇映畫劇「僕の東京地圖」（東京）山本禮三郎、小林重四郎、星ひかる、風玲子

天氣と氣溫

明日の天氣 北の風晴後曇
日の出 前五時十分
日の入 後六時十二分
月の出 前六時四十九分
月の入 前四時四十五分
けふの氣溫 最高 八度七 最低 〇度五

演藝と映画

映畫投票第二位當選「トレーダー・ホーン」上映
＝けふから帝都キネマで＝

帝都キネマ六日よりの番組は先般本社演藝部が同館とタイアップして行つた「ファンの映畫投票」において當選第二位を獲得、プリント未着のため上映を延期した「トレーダー・ホーン」を中心に新興二番線を配した短期特別週間三本立編成である、ファン要望に應へる「トレーダー・ホーン」の公開は當時一部ファンに與へた不滿を補ふと共に、新京の映畫ファンが選び出した映畫が果して如何なるものであつたか、その傾向を再認識する意味においても興味深いものがあらう

▽メトロ「トレーダー・ホーン」W・S・ヴァン・ダイクの監督する猛獸映畫、アフリカの新天地、叢林深く猛り狂ふ巨獸の跳梁と兇暴なる食人種の追撃をさけて、戰慄と恐怖の危地を衝し萬難を重ねて遂に新販路を開拓するまでのスリルに滿ちた物語りが綴られる超人ならざる人間ホーンの力が謳歌されてあるところに特別な興味が惹かれやう、主演者はハリイ・ケリイ、エドウイナ・ブース

▽寛プロ「松五郎鴉」前後篇　近頃の寛プロの作品はパッとしないが、「松五郎鴉」あたりの寫眞にはレヴエルに達した興味をそへてゐた並木鏡太郎などと言ふいゝ仕事をする男が居ないことには個人プロの質は當然下る、昔の作品が懐しまれる意味も手傳つて一應愉しく反スウ出來るものがあらう　出演者は寛壽郎一黨に新興スターを配した豪華陣容、キヤメラは吉見滋男

▽新興現代「誕生日」川手二郎監督作品、沖悦二、水原玲子、ジョウ・オハラ主演

生活と戀愛
あすからの長春座

長春座七日よりの番組は左の如くワーナーの「生活と戀愛」を中心に松竹二番線を配した三本立編成である、これにトム・秋田の模範拳鬪型及び實演がある

△ワーナー「生活と戀愛」「ベンガル」「南風」のフランチヨツト・トーンが主演する映畫でマーガレット・リンゼイ、ジョン・ミラーが助演する、大學を卒業した青年が高遠な理想と輝やかしい希望をもつて社會に飛び出して見たが、現實の社會で彼が體驗したものは全て彼の理想と希望を打ち碎くものでしかなかつた、そして彼が安息を求めた場所は愛の家庭であつたーといつた中味のある映畫である、監督にはアルフレット・E・グリーンが當り、脚色にはロバート・リー・ジョンスンがユージン・ノロウと共同して當つた、キヤメラはジエームス・ヴアン・ツリース、ワーナー社流の癖のあるスタイルが高級ファンに迎へられやう

△下加茂「道中女仁義」哲六の監督するサウンド版星高田浩吉が主演し光川京子、花園菊子、南光明等が助演する、まとまつた小品の味が漸味出來る

△蒲田「女の感情」佐々木康の監督するサウンド版で近衛敏明、日下部章、桑野通子、三宅邦子等が出演する、新鮮な顔ぶれに興味が惹かれる

豐樂劇場の音樂映畫週間

豐樂劇場六日よりの番組は左の如く「巴里祭」を中心に歐洲もの三本を揃へた「音樂映畫週間」である

△佛トビス「巴里祭」ルネ・クレールの代表的名作として想ひ出懐しき逸品である「巴里の屋根の下」と同一軌道を踏むこの映畫の豐かな詩情は音樂ファンならずとも充分に映畫の持つ法悦を愉しむに餘りあるものがあらう、主演者はアナ・ベラとポーラ・イルリイ、新京では初公開である

△ウファ「狂亂のモンテカルロ」エリッヒ・ポーマーの名と共にこれは餘りにも有名過ぎる、世界の賭博場モンテカルロの一夜に結ばれた女王と野人の魅力を持つ艦長との戀の交渉が美しい繪と音樂に飾られて物語られる、主演者はハンス・アルバーッとアンナ・ステン

△獨アリアンツ「今宵こそは」別項參照

今宵こそは

▽▽獨ツイネ・アリアンツ映畫、「女人禁制」のアナトール・リトヴアークの監督する音樂映畫の生粋、脚本には同じく「女人禁制」のI・フオン・クーベがA・ヨセフと協同して當り、作曲にはミシアス・スポリアンスキーが當つた、主演者はジヤン・キープラ、マグタ・シユメイダー等で何はとも角キープラの唄がぶんだんに愉しめやうと言つたお膳立で、フリッツ・アグノ・ワグナーの美しいキヤメラと共によなき滿悦を與へるであらう、就中ラスト・シーンにおける「ラボエーム」は壓卷である、豐樂劇場六日封切　寫眞はマグダ・シユナイダー

女の洪水
最近の邦畫題名

最近の日本映畫界は女ならでは夜の明けない國の樣に「女」のついた題名が非常に多い、近く封切されるものを擧げて見てもザット左の通り

△日活＝大谷俊夫監督「細君三日天下」吉村廉監督「嫁入り前の娘達」△松竹＝宗本英男監督「娘に告ぐ」五所平之助監督「朧夜の女」齋藤寅次郎監督「女はなぜ怖い」犬塚稔監督「お夏清十郎」△新興＝勝浦仙太郎監督「半島の舞姫」押本七之助監督「お七鹿子染」△第一映畫＝竹久新監督「チンドン屋の娘」△大都＝大伴龍三監督「やくざ女巡禮」△JO＝永富映次郎監督「勝太郎千守唄」△太秦發聲＝田口哲監督「護國の母」

新興陽春八大作

新興が陽春の銀幕に封切る八大作品が左の如く決つた

「刺青奇偶」全發聲衣笠十四三監督片岡千惠藏主演「宮本武藏」全發聲、龍澤英輔監督、嵐寛壽郎主演「開港情痴圖」全發聲、野淵昶監督阪東妻三郎主演「櫻の園」全發聲村田實監督、伏見信子霧立のぼる、汐見洋主演「半島の舞姫」全發聲今日出海監督崔承喜主演「鴎の爆音」全發聲村上潤監督、高田稔主演「雌雄」音響版勝浦仙太郎監督、オールスターキヤスト「寂光愛」音響版牛原虚彦監督、オールスターキヤスト

撮影所だより

△マキノのシネ・オペレッタ「笑ふ猿飛」はその後松竹ショウ、笑ひの王國で腕を知られてゐる同社田丸重雄監督の手でシナリオ執筆中の處いよいよ脱稿、擔任監督は未定だが中野英治、園德麿主演で近日クランク開始

△第一映畫溝口健二監督、山田五十鈴主演「浪華悲歌」は東京ロケに偏し勝ちだつた現代劇ロケ地としての近代大阪の價値を世に向ふ作品と云ふだけあつてロケ場所は大體左の如く大阪の各方面に亘つてゐる　宇治川附近、船場、心齋橋筋、戎橋、住吉方面、十合百貨店、地下鐵、文樂座、御堂筋、道頓堀その他

△日活京都久見田喬二監督は「名刀安綱の行衛」前篇に引續き同樣メンバーで後篇製作

雜音

帝都キネマに「トレーダー・ホーン」が掲る、本社演藝部の映畫投票において第二位を獲得したヴアンダイクの想出深き逸品である「ターザン」もの等と違つて興味は「人の力」を謳歌して見せたところにある▼尚本映畫未着のために先般當選映畫公開の際は一部ファンに迷惑をかけたが、これに就いては此處からもう一度お詫びを申上げておく▼豐樂は「歐洲音樂映畫大會」である「巴里祭」は新京未公開、三本ともいゝ作品である、音樂映畫の生命は二度、三度、四度見ても愉しめるところにある、春裝とともに好ましき番組である▼長春座は「生活と戀愛」を掲げて息を拔く、次週は「雪之丞」の綜合編輯版、これがまた恐ろしい威力を發揮するであらう▼春だ、ヂヤンヂヤン大ものを持つて來い

仙人掌

▲三笠町三丁目朝鮮料理屋曉星館方酌婦桃子クンを昨年十月に二百圓で身うけした男がある▲十五圓だけ手つけ打つたゞけで、後は毎月三十圓月賦で拂ふ約束だつたがいまだに一文も支拂はず二人は行方晦ましてゐるが買ふもの買ふもの、賣るものも賣るものぢや皆相當なもんぢや

舊三月十四日　四月五日　火曜　巳未　赤口　平　尾宿

●一白の人　目的の半にも達し難き日相談事は進むべし丙と丁と壬が吉
●二黒の人　自暴自棄に陥らず何事も辛抱するのが肝要辛と戌と癸が吉
●三碧の人　智略に誇れば凡力に及ばざる結果を招く日丁と戌と壬が吉
●四緑の人　才力の及ばざるを悟りて賢者に從へば安全丙と丁と戌が吉
●五黄の人　意の如く捗らざれど焦れば更に躓きを生ず丁と辛と壬が吉
●六白の人　活動力の膨脹を來し努力して倦かざれば吉辛と壬と癸が吉
●七赤の人　薄利を以て百貨を捌き收益多大を謀るに吉辛と戌と壬が吉
●八白の人　萬事進まぬが安全不覺を生じ易き日移轉凶戌と亥と癸が吉
●九紫の人　一方の旗頭となりて采配を振ふの勢ある日丁と壬と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話〔編輯局専用(3)三三二五　營業局専用(3)三三〇〇〕
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

ソ聯機越境撮影事件　施特派員嚴重抗議
ス總領事調査回答を約す

去る三日綏芬河に於て不法越境ソ聯機が滿洲國領を撮影せる事件に關し、同地外交部辦事處が直ちにソ聯領事に抗議したことは既報通りであるが更に外交部北滿特派員施履本氏は本事件を重大視する外交部の指令を受け五日駐哈ソ聯總領事スラウッキー氏と會見事實を指摘して嚴重抗議を爲すと共に將來の保障方を要求した之に對しス總領事は調査の上回答すべしと口約せるも語を次で寫眞撮影せるは日本機に非ずや、と逆襲的態度に出で依然たる傲慢不遜振りを示したが施特派員は確證を擧げ彼の反省を促した

謹訂　七日附夕刊第二面「皇帝陛下御日常を語る」記事中の「誠心一體」とあるは「精神一體」の誤りにつき謹んで訂正致します

ソ聯兩紙の　挑發的論說

最近在モスクワソ聯機關紙は左の如き挑發的論說を掲げ日滿側の憤激を買つてゐる、即ちモスクワ、デーリーニュースは三十一日の紙上にて
日本軍部の一部には日ソ兩國間關係の好轉を阻止せんとする者あり、最近國境侵犯事件の再發並に國境委員會問題の行詰り及びソ側が相互援助協定によりその獨立保全に深き關心を有する外蒙國境に委員會の權限を及ぼさんと提議せるを日本側に於て容諾せざるが如き事實はその例證にし、右は日本政府の平和的聲明に合致せず
と論じ、尚三月十八日イスベスチヤ紙も同樣意味の論說を掲げてゐる、右はソ聯が日滿側と平和親善樹立を希望するとロに旺んに唱へ乍ら一方に於て日本軍部を誹謗するもので之に對し親善樹立を希望する日滿側としてはソ聯側の斯かる不誠意な言辭又は思潮を頗る不愉快としてゐる

宗主國として
支那はソ蒙條約を認めず　―上海大公報論評―

【上海六日發國通】ソ聯外蒙軍事協定成立に關し南京官邊筋では新聞記者の質問に對しソ蒙相互援助協定成立に關し外交部としては特に注意を拂ひ既に在モスクワ大使館に宛て眞相調査を電命した、從つて調査の結果により意志表示をなす筈である
と述べ終始消極的態度を持續し宗主國でありながら無關心であるかの如き頗る不可解な印象を與へてゐる、又言論界も今日迄同問題に對して筆を加へず、寧ろ傍觀の狀態であつたが、四月一日南遷した上海大公報が六日朝刊論說に於て漸く概略左の如き論評をなした
最近外蒙、ソ聯間に相互援助協定成立せりと傳へられるが、一九二五年のソ蒙協定によりソ聯は明かに外蒙の宗主權が支那に存する事を承認して居る、敢て言ふ外蒙は支那の領土である往年のソ支協定はソ支國交回復後に於ても列國々交の一根據をなすものであつて恣にソ聯外蒙軍事協定を締結せるは外蒙の宗主國支那として默過し得ざる所當然之はソ支兩國間の重要交渉の一つとなるであらう、併し乍らソ蒙協定は新事實を含んで居ない、ソ聯外蒙間の軍事相互援助關係は今に始まつた事ではなく強いてソ聯側が今回ソ蒙協定を公表したのはソ聯の日本に對する一つのゼスチュアと解すべきである

鈴木侍從長全快　今朝參內

【東京國通】鈴木侍從長は麹町の官邸にて靜養中であつたが六日午前十時事件以來四十日振りで參內した
侍從長は負傷の繃帶も殆んどとれてフロックコートに威儀を正し多少窶れの模樣で乾門から參入、宮中に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ靜養中の御禮を申上げたところ、陛下には不自由な侍從長をおいたはりあらせられ種々有難き御言葉を賜つた
侍從長は引續き御內儀に於て皇后陛下に拜謁仰付けられ御機嫌を奉伺、更に湯淺內府、廣幡侍從次長に對面の後正午頃官邸に引下り引續き靜養を要するので當分出勤は出來ない由である

國務院會議決議

六日の國務院會議に於て左の諸議案が可決された
一、拍賣法（競賣法）
二、松花江江捐、結關費、修江捐並に黑龍江の江捐及修江捐に關する法令廢止の件
三、人事
奉天郵政管理局副局長　中島俊雄
任奉天郵政管理局長　敍簡任二等

十三人委員會と　ロカルノ四國會議
八日から並行して開催せん

【パリ五日發國通】伊エ紛爭處理問題を繞つて愈々最後的に聯盟の態度を決定すべき十三人委員會は八日からジュネーヴで開かれる事となつたが、フランダン佛外相の主張に基く英佛白伊ロカルノ四ヶ國政府代表會議は英國側の主張に從つて十三人委員會の議事と並行的に行ふことに決定した

軍司令官の祝辭に　優渥なる御答勅

滿洲國皇帝陛下には六日御訪日記念の佳節に當り植田軍司令官を官邸に御訪問遊ばされたが軍司令官より左の如き祝辭を捧呈、之に對し優渥なる御答勅を賜つた

軍司令官の祝辭

茲に御訪日記念の賀筵を催すに當り恭しく皇帝陛下の御光臨を辱ふす、之本官の歡喜措く能はさるところなり
惟ふに鳳駕雄航既に一年本日は正に東京に於て天皇陛下と御會見遊ばされ積慕を伸へ給へる曠古不朽の記念日なり　畏くも上我皇室に於かれては一般國際的儀禮を超越し眞に肉身的至情至愛の盛儀を催させ給ひ下臣民も又悉く熱烈敬愛の誠意を致し擧國一致歡迎し奉れり　誠恐誠惶謹みて按するに皇帝陛下曩の御東渡は滿洲國建國の精神を明かにし不渝の倚頼と一德一心の義を宣揚暢達し以て兩國の眞關係を愈々明徴ならしめたるものにして率土齊しく膽仰感激措く能はさる所なり　本官等は此萬古不滅の盛典を永久に慶祝し併せて兩國一家の誼を益々鞏固ならしめんことを期す　茲に本日の佳節に當り謹て寶壽の萬歲を祝し奉る

御答勅

昨年四月六日朕貴國天皇陛下と晤り談し懇誠相契り億兆臚へ歡ひ兩國の一心一德は恒久に渝ることなし是れ誠に盛大の記念日なり此の嘉會に際し貴司令官大使より懇篤なる詞を致さる朕深く忻悅す敬んで貴國天皇陛下の慶福と國運の蕃昌とを祈る

一年後の今日
東京御着の活動寫眞を御覽　御感動の御言葉

植田司令官官邸に於ける御訪日滿一ヶ年祝賀會に御親臨の滿洲國皇帝陛下には午後一時半午餐會を終へさせられ同四十分より澄宮殿下（三笠宮殿下）の御日常並に御訪日の盛模樣を謹寫し奉つた、一德一心の活動寫眞を御覽遊ばされたが、御訪日の御寫眞には昨年宮中參入の御模樣がまざまざと寫し出され皇帝陛下には時計を眺めさせられつゝ「丁度一年前の朕の姿だ」といとも懷しげに仰せ出され日本皇室との深いお親しみは陪席の人々を感激せしめた

イタリー部隊
エ軍の根據地クオラムを占領

【アスマラ五日發國通】北方戰線バーレ駐屯イタリー軍司令官よりの報道に依ればアシアンギ湖畔の會戰に於てエチオピア皇帝の率ゐる近衞軍を擊破したイタリー部隊は五日更にエチオピア軍の根據地クオラムを鹵き之れを占領した

伊重爆六機　再度ア市襲擊

【アヂスアベバ五日發國通】四日午前イタリー軍戰鬪機五機の襲擊を受けて多大の損害を蒙つた首都アヂス・アベバは五日早朝又もやイタリー軍重爆擊機六機の猛烈な爆擊を受けた、爆擊隊は主として皇太子宮を目がけて集中的に爆彈を投下し、市中は大混雜を呈してゐる

軍司令官師團長會議　愈々本日召集
一同宮中に參內軍狀を奏上

【東京國通】今次不祥事件の善後處置に關する重大會合を行ふ陸軍の軍司令官、師團長會議は愈々七日から召集される
當日一同は午前十時半宮中へ參內し、天皇陛下に拜謁仰付られそれぞれ管下の軍狀を委曲上奏御下問に奉答、正午には宮中に於て御陪食を仰付られる筈である、而して八日の會議は陸軍省第一會議室に於て開會され寺內陸相から軍紀の徹底的振肅と、軍隊の秩序維持につき重大訓示が行はれ引續き午后には陸相官邸で陸相を中心に今次事件を契機に擧軍團結して皇運の扶翼に邁進すべく隔意なき懇談を行ふ事になつてゐる

洪牙利政府も
近く均等權恢復へ

【ブタペスト五日發國通】ドイツ政府のロカルノ條約破棄オーストリア政府の强制徵兵制採用等諸國が相次いでベルサイユ體制の失格、打破に邁進しつゝある現狀に鑑みハンガリー政府も近くトリアノン條約の束縛を脫して均等權恢復要求の擧に出るものと解される、政界有力者の意見を綜合すればハンガリア政府の意圖は左の如きものと見られる
一、獨墺兩國政府が條約の一方的破棄に依つて均等權を獲得した事實に徵しハンガリア政府も亦近く無條件的均等權を要求するであらう
一、但しハンガリア政府は隣接諸國との相互援助條約締結には反對であり、且つ獨墺兩國の如く一方的破棄の非合法的態度に出でんとするものでもない、ハンガリア政府は近き將來に於て關係諸國との協議の上合法的に均等權を恢復せんとするものである

小原前法相　勅選に內定

【東京國通】勅選議員は水上長次郎、渡邊千代三郎兩氏の逝去により缺員九名となつたが政府は六名程を特別議會前に補充する方針で目下各方面の候補者より詮衡中であるが白根前翰長大橋前法制局長官小原前法相の三氏は內定して居る樣である

許駐日大使參內　信任狀捧呈

【東京國通】この程着任せる駐日中華民國特命全權大使許世英氏は六日午前九時半大禮服に威儀を正して王參事官以下十三名の館員を從へ宮內省差廻しの儀裝馬車にて麻布飯倉町の大使館を出て二重橋正門より參內午前十時鳳凰間に於て有田外相侍立の下に天皇陛下に謁見仰付られ許大使は恭々しく信任狀並に前任大使の解任狀を捧呈したるに陛下にはこれを御嘉納あらせられて有田外相に授けられ優渥な勅語を賜ひ終つて王參事官外十二名の館員にも謁を賜はり一同御前を退下、引續き許大使は夫人同伴桐の間に進み皇后陛下に謁見仰付られた
斯くて天皇、皇后兩陛下には午後零時半豐明殿に出御許大使夫妻のため午餐會を催させられ梨本元帥宮、同妃兩殿下御臨席、有田外相、湯淺內府、松平宮相、宇佐美侍從武官長、廣幡侍從次長等も參列、一同御陪食の光榮に浴し、終つて別殿に於て茶菓を賜はり大使夫妻は種々有難き御言葉を拜し感激の中に午后一時半過ぎ宮中を退下した

植田軍司令官
昨日滿人記者團と會見

植田軍司令官は六日午前十時卅分滿人記者團と軍司令官室で會見左の如き挨拶をなした
私は此度軍司令官として當地に參りましたが斯くの如く諸君の歡迎を受けまして誠に光榮と思ひます、古來より新聞記者は社會の木鐸と云はれ社會の指揮者でありますから諸君の任務は實に重大と言はねばなりません、殊に滿洲國の人民は日本の新聞を讀むことは極めて困難でありますから只諸君の新聞のみが唯一の賴りであります、故に諸君の今後の責任は實に重大であります、一般知識に於ても、又世界の情勢に對する認識に於ても充分深く極めなければなりません、私も未だ當國の事情に就ては何も解りませんから出來るだけ御援助の程を御願ひします

山西共產軍　綏遠、河北を窺ふ

【天津六日發國通】信ずべき筋への入報によれば山西共產軍は第二次工作に移り中央との共同工作を更に一步を進め山西軍と最近妥協成立せる模樣である、即ち共產軍は山西軍の地盤をこれ以上侵略せず山西より綏遠、河北兩省に進出し、これに對し山西軍は共產軍の移動を默認するといふにあるものゝ如くである、一方北上せる徐海東系共產軍二千は苛嵐縣より陝西に入つたかの如く見られてゐたが、卅一日陝西省北部より山西省に侵入せる劉子丹紅軍の先發部隊約五百と山西省北部で合流綏遠入りを企圖して居り、又南部方面曲沃、洪洲地方の共產軍主力部隊は東部に向つて移動を開始し既にその先鋒便衣隊は河北省南部、河南省北部即ち湯陰、內黃一帶に入り土匪を糾合暗躍を續けてゐる

退職積立金法案　特別議會に提出

【東京國通】國民生活の安定向上を圖る廣汎な社會政策の實施に就て內務省では潮內相就任と共に諸般の調査を整備研究を開始したが懸案の退職積立金法案は來る特別議會に提出、之が通過に努力する事に決定した、右法案實施の曉には職工總數の約三割を占むる臨時工の差別的待遇も一應は解決され經濟界の反動に伴ふ勞働者階級の打擊は非常に輕減される事になるが、內務省社會局では更に桿頭一步を進め勞働時間の制定に乘出し右法案の具體化を圖る事となつた、而して右法案の內容は一に勞働時間十時間を限度とし特殊の事情あるものは時間延長する事が出來るが一週間の總勞働制限時間を超過する事が出來ぬ事となるもので一週幾時間にするかは今後の研究に待つ事となつた

菱田軍醫の遺骸　原隊に歸還

【圖們國通】長嶺子事件の犧牲者故菱田軍醫の遺骨は田路〇〇長、高野中佐他二名の將校に護られ三日午後五時半列車で圖們着、憲兵隊士の出迎へを受けて一先づ停車場司令部に安置され、同十時三十分國際列車にて延吉〇〇隊に向つた、尚同列車には同事件で名譽の負傷をした吉田中尉も同行してゐた

松室少將　北平に入る

【北平六日發國通】土肥原將軍の後を受け北平に恒常的機關を設置北支時局調整に當る事となつた松室孝良少將は六日午前十一時半着列車で入平左の如き着任挨拶を述べた
私の任務は天津軍司令官の分身として官民と協力速かに北支の明朗化を達成、東洋平和の基礎を確立するにある、然るに北支はあらゆる角度から見て危機にあるので北支赤化に對する防衛のためには帝國は如何なる犧牲をも拂はなければならぬと國內上下一致堅く覺悟を決めて居るのである、不肖着任に當り切望するところは兩國安民の道を講じ相携へて共匪を防ぎ日支安全の保障策を見出す事である

關稅、通關に關し　各鐵路會議

社線、國線及北寧鐵路との貨物運輸連絡は愈々五月一日より實行さる事に決定を見たので之が關稅、通關手續きを如何にすべきやとの問題に就き來る十日頃山海關に於て滿鐵鐵路總局、財政部、北寧鐵路四者當局の打合せ會議を開催する事になつたが、今回の貨物連絡開始により日滿支の貿易は急激なる激增を見るものと期待されて居る

日滿實業協會　新京支部設置

全滿商議聯合會では過般東京日滿實業協會鄕會長より聯合會築島常務理事宛協會支部設置に關し懇篤方打電に接したので六日午前十時より新京記念公會堂で日滿實業協會新京支部設置に關する第七回理事會を開催、日本側より全滿各商議理事、關東局山中殖產課長、滿洲國側より張工商司長、高橋總務司長、韓特別市長等參列、新京支部設置に就て東京本部より連絡に派遣せられたる篠崎理事も交へ協議の結果日滿實業協會新京支部設立に對し贊意を表し、近く支部發會式を行ふ事に滿場一致可決した

全滿會議所總會　今日開催

滿洲國商工會議所法は目下政府に於て制定を急いでゐるが之に關し
一、一都市一會議所主義
一、强制徵收力賦與
の內容の提示を受けた日本側の在滿商工會議所では臨時總會理事會等を開いて對策を協議して來たが、右の中「一都市一會議所主義」に關しては會議所內に日人部、滿人部を分置したき意嚮で、それも日本の商工會議所に於る商、工兩部分置と同樣に獨立の決議權を持たしめたいと希望してゐる
尚七日午前十時より新京記念公會堂に於て全滿日本商議臨時總會を開催、これ等の問題に對する最後的態度を決定すると共に同法の公布並に實施期に關する希望に就ても協議なし近く滿洲國當局に對し要望を進言する筈である

公學校教諭異動

新京公學校教諭植松金枝氏は滿鐵本社學務課へ轉任、後任として撫順公學校から藤井信近教諭着任、六日兩氏同伴更任挨拶に來社した、因に植松氏は七日發〃はと〃で赴任する

小林少佐遺骨　六日內地へ

去る三月十九日殉職した小林航空兵少佐の遺骨は遺族に護られ六日午後四時發列車で鄕里へ向つた

長岡前廳長　記者團と惜別

長岡前總務廳長は六日午後六時から八千代で國政記者俱樂部員一同を招待惜別宴を張つた

人事往來

▲長尾大佐　六日午後奉天へ
▲岡本少佐　同
▲柳少佐　同
▲木村二等主計正　同ハルビンへ
▲八木治淳雄氏（鐵路局員）同大連へ
▲尾崎喜馬太氏（會社員）同奉天へ
▲平尾芳太郎氏（木材商）同吉林へ
▲石川幸太郎氏（會社員）同吉林へ
▲石橋茂氏（辯護士）同來京中央ホテル
▲小原良介氏（實業協會理事）同
▲四戶友太郎氏（三友社主）歸省中の處五日夜歸京
▲下平哲英師（新京西本願寺駐在）內地歸省中の處五日〃アジア〃で歸任

航空往來

▲筒井卯年生氏（會社員）六日午前奉天へ

社説

滿洲農業と協同組合

建設に立向ふ自主的組織へ

一

滿洲に於ける現在の農業恐慌は、根本的には世界經濟恐慌の一環をなすものである。農業恐慌の發生原因は農產物の生產がその需要に比して著しく供給過剩となり、農產物の市價が崩落して生產原價を償ひ得ない所にある。而して農產物の供給過剩は生產量の增大をのみ意味するものでなく、需要量即ち消費高の減退も亦相對的には供給過剩を招來する。この農產物需給の不均衡に伴つて、副次的に農民の必需品たる工業生產物の價格は比例的低落をなさず、農業經濟は決定的に崩壞せしめられる。滿洲農民はその唯一の換價作物たる大豆の暴落にも拘らず、綿絲布、雜貨、砂糖等の工業必需品の價格が之に伴つて低落せず、ために生活を脅威されてゐるのである。農民の困苦はいかにして打開されるか。自主的な組織としての農村協同組合以外に、近代的工業生產の統制ある方法に對應し得るものは無いであらう。

二

協同組合の本質は、資本主義機構内に於いて、多數の經濟的弱者が共同結合することに依つて資本主義の重壓より解放さるることを目的とする團體である。從つて、共同組合は勤勞無產階級たる農民、勞働者、下級俸給生活者を糾合した自主的組織體でなければならぬ。それは資本主義的制度があらゆる社會面にまで滲透した社會に於いて活潑に發展するが、本來半封建的社會であり、その政治經濟制度が近代的資本主義列强の植民地的支配或ひは影響を受けた所に於いても協同組合運動は發生し發展しつゝある。それは自給自足の現物經濟から商品生產經濟すなはち貨幣經濟への急激な變遷を不可避的ならしめられ、こゝに農村に於ける金融制度の整備擴充が必要とされる事情が大いに作用する。最近十年來躍進を示して來た印度農村信用協同組合、現在支那に組織を擴げつゝある鄕村建設運動中の信用合作社等はこれを實證するもので ある。滿洲國に於ける金融合作社の使命も、これと同一の方向にあると言はねばならぬ

三

滿洲國に於ける金融合作社は康德元年に創設され、協同組合の信用事業に第一步を乘り出したものであつた。だが滿洲農村經濟復興のためにはまた恐慌克服の根本的對策樹立のためには、現在の金融合作社のみを以てしては足りないであらう。近時糧棧の廢止可否論が喧しい。こゝにも自主的協同組合建設の途が拓かれてゐる。滿洲の農村が持つ鄕村自治の慣習は、かゝる新しき形體の中に生かされてこそ、よく明日の建設のための適應性を有し得やう。

お花見團体に汽車賃割引き

鐵道の特別サーヴィス

微笑みかける春とともにお花見の季節も目の前だが、櫻の名所大連、旅順、さては安東にと觀櫻に繰り出す團體客の爲に鐵道では次の割引往復乘車券を發賣することゝなつた割引區間は社線各驛より大連沙河口、安東ゆき往復で期間は大體開花の頃より十日間となつてゐるが各地の情況に應じて追つて發表される、割引率は三等に限り五人以上の場合は各人に對し普通往復運賃の七割額、二十人以上は同樣六割額、五十人以上は五割額となつてゐる

軍需工業にも惱み不當增配抑制

軍當局で嚴重に監督せん

陸軍當局においては最近に於ける軍需インフレーションの波に乘る各種軍需工業會社の暴利不當高配につき非難あるみに鑑、從來とも嚴重な監督をなして來たものであるが今後內外の非常時に際し國防的にも勢ひ膨脹し從つてこれら軍需工業に投下される額も相當增加し他の工業に比し著しく利潤が大となることは必然であり、且つ前記の如き非難の聲も更に加はるであらうことを考慮して一層不當利得の監視を嚴にするとともに利潤の調節を企てるものと見られてゐる、すなはち利潤の調節に對しては臨時利得稅法の活用其他の便法を以て適宜調節を圖るが、陸軍當局としては差詰め不當なる增配を抑制し利益金の社內留保を各業者に勸奬、可及的に工場の整備新設、技術の改善進步、熟練工の養成維持等につき當業者の協力一致を要望し軍需工業會社に於て不當なる利得を敢てする場合に於ては多大の犧牲を拂つても斷乎注文の取消し又は將來に對する取引を絕つ事となるものと豫想されてゐる、更に之等不當の暴利高配を監督する直接方法として現在でも現役將校を以て民間軍需工業監督制度を實施して居り、東京、大阪、名古屋北九州の我國四大工業地の各工業會社工場に監督官を派し技術經理の方面から嚴重なる監視を行はしめてゐるが近來益々從業員を虐遇するの風評もあり今後增加する軍需工業の現狀に鑑み現在の監督官を更に增員し之が監督の萬全を期する外現下軍需工業が隆盛にあるに拘らず一方勞銀が低下しつゝある事實は陸軍としても看過し得ないものとし此の點に就いても充分內務省、社會局其他關係官廳と協力し調査の步を進める方針であると

パラグアイへ拓務省移民

【東京國通】拓務省では本年度に新たにパラグアイ國に約百家族四百名の自作農業移民を送る事に決し、之が詮衡のため拓務局の靑木事務官他二名を岩手、宮城、栃木、秋田山形、福島、新潟、長野、山梨の各縣に派遣する事となつた

屠宰會社十日總會

創立を見た新京屠宰會社の定期總會は十日午前十前から新京ヤマトホテルに於て開催される

無名戰士の記念碑の栖が盜まれる

【上海四日發國通】支那側では去る一月廿八日上海戰を記念して爆彈勇士で有名な江灣廟行鎭に無名戰士の碑を建立死者の英靈を慰めたがこれより二ケ月足らずの三日に記念碑につけてある銅製の栖が盜難にあひ行衛不明となつた戰士の英靈を祀る記念碑まで竊盜の目的物となるとは支那ならではの感が深い、然し犯人四名は直ちに公安隊に逮捕された

來る十二日競獵大會

京白線の沼地で

獵天狗連にられしいニュース來る十二日新京驛主催、新京獵友會後援のもとに京白線華家新開河沼澤を中心に一大鴨雁競獵大會が開催される、同地は新京驛より一時間半の華家驛より徒步で約二十分の所沼は幅六十七丁、周圍は數里に亘る大池で四月中旬ともなれば鴨、雁、白鳥などは申すに及ばず狩獵家にとつて唾涎の的である鶴、山七面鳥と言つた素晴らしい鳥類が季節の波に乘つて同沼澤に群集し獲物の多いことではかの孤店子すら遠く及ばないと言はれてゐる、匪賊出沒の懸念などでみすく今日まで放置されたが治安もすつかり肅正された今日漸くこの試みが行はれるわけで久しく獵銃を撫して獵期を待ち焦れる人達にとつて押し展つた京白の野面に群鳥を追つてぶつ放す華々しいこの競獵大會こそ、まさに溜飮ものであらう、期日は十二日午前七時五十分新京發、午後八時三十分歸着、申込は十日まで會費二圓五十錢（申込と同時に拂込みのこと）採點法は雁が百點、鴨三十點、白鳥五百點、鶴五百點、山七面鳥五百點、其他の獲物は採點しない

復活祭祝賀電報取扱

電々會社では例年の如く本月十二日の復活祭に當つて國際祝賀電報を取扱ふことになつたがこの期間は來る六日より十三日迄の八日間である、此の電報は通常電報料金の三分の一の料金で取扱はれるものであるが主なる規定としては左記の樣なものである

一、復活祭祝賀電報の本文は復活祭の祝賀文のみを包有するものであること

一、復活祭祝賀電報には「XLT」なる課金指定を附すること

一、復活祭祝賀電報では返信料前拂、郵便局書留、電報局留置以外の特殊取扱を爲さぬこと

等であるが此の電報が來着した時には一般歐文電報に使用する送達紙に受信し復活祭祝賀電報（EASTER GREETING TELEGRAM）と朱書して通常私報の後に受信者に配達されるものであるがその他は一般國際電報取扱の例に依るものである

搖彩票賣行良好

滿洲國馬政局が賣出し中の五萬圓配當第八回壽搖彩票は二枚つゞき二圓、一枚一圓であり奉天競馬の第九回目五月十七日抽籤があることになつてゐるが新京の取次店日本橋通二幸の話ではなかく賣れ行きがいゝさうである

朝鮮武德會の建築原案

【京城支局發】日本一を誇る武德會朝鮮地方本部建設の武德殿原案が出來上つた、場所は總督府廳舍と慶會樓の中間孝子洞電車通に寄つた所で樣式は大體日本式にして周圍に慶會樓、勤政殿、修政殿等の建物があるので其の環境に適應したものにするため朝鮮式を加味し本殿弓道場別館等で構造は鐵骨鐵筋コンクリート造りに土地柄最新式の暖房を裝置し二千人餘りの參觀者を收容し得るやう延坪一千坪の大規模のもので總工費三十萬圓實に名實共に日本一の大武德殿となる

美顏 美肌料 黑砂糖石鹸 發賣元 大信洋行 電(3)3545

丁香廬漫筆（八五）

◎破天荒の誕生祝（上）

天津市長の蕭振エイが二週間程前其北平の邸宅で今年六十六歲を迎へた雙親の爲めに大々的誕生祝をやつたがお祝が極めて大仕掛けで餘りに素晴しかつたので平津の社會に一大話題を提供した形になり今以て此話で持切りである。

×

手取早く實質的に云はう。祝賀宴は三日間打通し祝賀の挨拶に來たものが計四萬七千人御馳走に呼ばれた御客が約八千人、此內には天津張家口濟南南京上海保定漢口等方面から特に來た人々も居る北平一流の三大料理店を總動員して此れに當る。贈られた祝壽チヤイヅが一千枚李石曾王寵惠鄭イク秀女士三人合同で贈つた素的なヒ翠入壽屛が價値約三萬元天津の重立つた商人がらは扁額六面頌德傘八十本頌德旗八十旒接待員が三百人三班に分れて男客女客外客を受持つ、第一日に上等の接待煙草が一千罐程煙に成つた、天津からのお客の爲めには北寧鐵路から特別列車を出させ冀察政委會主席宋哲元北平市長秦德純二人は蕭の兄弟分とあつて兩老親の前に進み出でゝ叩頭をやり、其他のお客は壁間に揭げられた壽像の前で三鞠躬の禮をやつて順次に退く、三日間連續の演劇、登場俳優は皆な一流、有名な余叔岩は出演一回で三千元貰つた、此の三日間の祝賀宴に費消した金は極めて少額に見積つて十萬元はあらうと云ふ話當時の北平の雜踏は大したもので支那紙は『萬人空巷』と記し路透は『北平城中の道は盡く蕭家門前に通ず』と感嘆してる。前淸及軍閥全盛時代を通じても高が市長位で是程圖ば拔けた誕生をやつたものは一寸類があるまい、何のことは無い滿洲國の王道樂土が滿洲を素通りして北京に乘込み百パーセントの威力を發揮したと云ふもの。人の子と生れて又男として世に此程の親孝行が有らうか、滿洲事變以來滿洲生れの滿洲國人で大臣參議になり家名を揚げたものもあるが孰れも吉林扶餘縣生れの無賴漢出身なる一個蕭某に及ばざること遠し。余が玆に北平の此の話題を受賣りするのはお隣の所謂愛國者に左袒し亡國の危機を眼前に控へて何たる醜態ぞなどと徒らに他人の懷ろを慷ぜんが爲めでは無い。此點では型破りの思切つて大膽な遣口が寧ろ痛快である、面白い男だとさへ思つて居る。事實天津市長に着任匆々前任者の爲し得なかつた苛捐雜稅の廢止を英斷的に實行し一般商民から多大の信賴を得た、その揚句今度北平でのお祭騷ぎである、恐らく彼の考では不景氣で沈滯し切つた故都で智慧の無い頭を寄せて不景氣不景氣で溜息ばかりついて居つた處で何にもならぬ、俺が一つ景氣直しにお祭氣分を湧かしてやらう位の腹もあつたらうから、憤慨常習性のインテリ層が蔭で少々グッく云つたかも知れぬが其實一般人民は一時的にもせよ一寸潤ひ喜びもしたことであらう。

商況欄

（四月六日後場）

金銀市況

●上海標金

前引	一二〇八
後寄	一二〇八

●大連金鈔票

寄付	九〇

爲替相場

●大連鈔票銀大洋

現物	一〇九・四〇 / 一〇九・三〇
出來高	一九、五〇〇

▲四月十二日限 / 四月二十七日限

	四月十二日限	四月二十七日限
寄付	九七・七〇	九〇
步	七・六〇	
高	九七・四〇	
安	九七・二〇	
引	九七・四〇	
出來高		九〇

▲上海爲替

▲日本向 第一回賣買	一〇三、	三七五 / 八七五
▲倫敦向 第一回賣買	一志二片	二分一 / 一六分九
▲紐育向 第一回賣買	二九弗 / 三〇弗	一六分三 / 〇〇〇

▲大連爲替

▲上海向	一〇六、〇五〇	出來高 一萬
▲國內向	一〇六、一〇〇 / 六、一二五	

株式相場

▲大連株式（短期）

品	寄	引
五品新	一六・一〇	一六・〇〇
豆鈔新	一九・四〇	一九・四〇
鐵新	一四・二〇	一四・二〇
東新	一三三・九〇	一三四・七〇
滿鐵新	五八・五〇	—
二新	五四・九〇	—
日産	五四・八〇	五五・〇〇
鐘新	一四一・九〇	—

▲奉天株式（短期）

品	寄	引
滿取	一六・〇〇	一六・〇〇
東新	一三三・八〇	一三四・七〇
大新	七・五〇	七・八〇
日産	一六・〇〇	—
品新	七四・四〇	七四・五〇
鐘新	一四一・五〇	一四二・五〇
五新	一九・四〇	—
豆鈔	五八・五〇	—
滿鐵	五四・七〇	—
二新	一八・一〇	—
電甲	—	—
同乙	一七・八〇	—
東拓	一〇・一〇	—
東亞	二四・三〇	—
滿興	一七・五〇	—
滿毛	一六・五〇	—
優先	六一・〇〇	—
日醬	—	—

各地商品市況

▲横濱生糸

前場引	[illegible]
後場寄	[illegible]

● 豆粕

限月	寄	引
四月限	六・四二	六・四五
五月限	六・四三	六・四五
六月限	六・四三	六・四六
七月限	六・四一	六・四五
八月限	—	—

●同 豆粕

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	一・八四〇	一・八四五
五月限	一・八五五	一・八五五
六月限	一・八六〇	一・八六五
七月限	一・八六五	一・八六五
八月限	—	—
九月限	—	—

●同 豆油

限月	寄	引
現物	二〇・七〇	二〇・七〇
四月限	—	—
五月限	一九・八〇	一九・八〇
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—

●同 高粱

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	三・七七	三・七七
五月限	三・八八	三・八八
六月限	三・八八	三・八八
七月限	三・九一	三・九二
八月限	—	—

●哈爾濱 大豆

限月	寄	引
四月限	一・一九七五	—
五月限	四・四〇〇	—
六月限	四・三〇〇	—

●同 小麥

限月	寄	引
四月限	一・二〇七五	—
五月限	四・七六〇〇	—
六月限	四・八四〇〇	—

●神戶 豆粕

新京取引所市況

（四月六日後場）

手形交換高

新京小賣相場

各地特產市況

南滿

北鎭縣の水田開墾に 鮮農の團体移住
今春農期より第一次着手！ 滿人側でも大歡迎

【錦州國通】北鎭縣胥堆子（奉山線胥堆子驛東方）附近一帶は蘆草の繁茂に任せ夏季は之れを利用して匪賊の横行盛んであるが、該地域は水利の便もよく水田として開墾可能なる事が判明したので大連公司（朝鮮人經營）では更に土質その他に就き調査中の處この程に至り大體の確信を得たので滿人地主との間に商租契約の手續を了し、今春の農期を控へ第一齊手として百十八戸約四百五十名の鮮農を移住農業開墾に從事せしむる事となつた、これ等鮮農の多くは奉天、撫順より來れる者で昨夏の風水害により家財道具から作付物全部を失つた貧困者である、尚今後の成績如何によつては更に三百戸約一千名を同地域に移住せしむる計畫があり、滿人側としても經濟的並に治安上より見て荒廢地の水田化を大いに歡迎してゐる

滿洲國名士書幅展覽會

【大連支社發】滿洲國童子團聯盟主催の滿洲國名士書幅展覽會は滿鐵社員倶樂部に於て四日より開催されてゐるが鄭孝胥、袁金鎧、寶熙、羅振玉氏等書聖として定評のある大家の揮毫を始め顯官、名士の各得意の書風に觀衆は多大の興趣を覺ゆるもの丶如く續々つめかけてゐた

日本赤十字社 奧地醫療機關増設

【大連支社發】日本赤十字社滿洲委員本部では曩に醫療機關の設備のない邊陽の地域にあつて病魔に苦しむ人々の爲めに從來奧地警察官派出所、學校等に救急函を設置し應急措置に備へてゐたがその効果多大なるに加へて、これが増設を希望する向が多いので今回五百個を増設することゝなり鋭意藥品等の塡充を急いでゐる

大連々鎖商店街の組織的結束方針
業態別團体組織横の連絡確立

【大連支社發】大連驛新築連鎖街前廣場の市街化計畫等諸種の好條件に惠まれた春の大連連鎖商店街は創立後八年の歳月を閲しその間老舗浪速町と對抗商戰を續けて來たが高踏的な商策に禍されてか常に浪速町側に押され氣味であつたが今次の好條件を前にし連鎖街繁榮の樹立に過般來寄々協議を重ねつゝあつたが三日の有志懇談會席上に於て各業態別の團體を組織しその團體各個の連鎖により漸鎖街組合の全體的結束を固め新しき歩みを續けて行くことに意見の一致を見た模樣である

練習艦隊の音樂と映畫の夕

【大連支社發】七日入港の我練習艦隊の軍樂隊では八日午後六時三十分より霞小學校で九日午後六時三十時より彌生高等女學校で各『音樂と映畫の夕』を催すことになつてゐるが一般の觀覽を歡迎すると

旅順電報電話局舍の新築移轉

【大連支社發】旅順電報電話局舍の新築移轉は多年の懸案であつたがいよく旅順迎橋畔舊八島座跡に建築される豫定であるが新舍屋は煉瓦造二階建、一六八坪のモダンなもので觀光地旅順の一名物として現出する筈である、然して電話交換方式は豫算の關係で手働式となる模樣で市民はいささか失望してゐる

來る五月三日期し 旅順港の閉塞記念祭！
諸行事盛大に擧行

【大連支社發】軍國日本の國民精神作興に資する爲來る五月三日旅順港閉塞記念祭を擧行することになつた、右は現旅順要港部參謀長が委員長となり在旅各機關が參集して港口閉塞當日をトし最も適切なる行事を行はんとするもので壯擧の記念日たる五月三日は要港部、無線電信所及び第十四驅逐隊が參加し旅順港口港內に於て諸種の行事が催される豫定である

八雲、磐手 大連港入港

【大連支社發】二日軍艦春日の出港の後をうけて七日には練習艦隊八雲、磐手の二艦が入港することになり此處に海軍日本の姿を擴々と大連港頭に現出することになつたが碇泊六日の兩艦歡迎に對し大連市役所では大體左の如き準備を以てゐる

△七日午後一時候補生に對し關東軍及滿蒙事情講話

△午後五時市主催の艦隊歡迎宴

△午後六時より協和會館に於て滿蒙事情映畫會

尚八、九、十の三日間午前九時より午後四時まで一般の拜艦を許可される筈である

敦化義勇消防組の內容刷新充實
愈よ民會より分離獨立す

【敦化支局發】敦化義勇消防組にては十年度最後の役員會を二日開催し特に重要なる協議をなしたがその中本消防組は昭和九年五月創立當時より民會の附帶事業とし敦化唯一の公共團體として益々質實共發展を辿つて來たが今回愈々民會より分離獨立すべく一致議決した、尚本年度豫算に約一千五百圓を計上し器具補給等極力充實を計つてゐる、尚來る十日頃春期總會兼演習を開催し組員一同の訓練と精神的方面の向上を計る事になつてゐる

森林伐道測量 除來敦

【敦化支局發】先般創立着々として事業の擴張充實を計畫しつゝある滿洲林業公司の森林鐵道建設のため滿鐵測量隊一行は二日着敦早々準備中であるが京圖線大石頭より沙河掌に建設する由にて解氷直ちに工事着手の由

敦化土建界 活況を呈す！

【敦化支局發】新興敦化の本年度土建界も昨年中に比し種々土木建築工事多きを見込んで殊に總局では局宅並に道路工事も決定しおり其他滿洲林業の營業擴張による請願の設備其他一般建築會々會社の建築等相當の工事にて愈々活況を呈する事であらう

吉林操觚會 九日發會式

【吉林支局發】當地にある新聞雜誌關係者に於て發起されたる吉林操觚會にては來る九日夕嶺南飯店に於て發會式を行ふと同時に日滿各方面の要人を招待して映畫會を催すことゝなつたが現在の操觚會員は左記の諸氏である

西野耕正（福岡日々）時政清（松江新聞）富永重治（大同報）金井塚茂（大吉林）竹中作平（滿蒙事報）楢部南崖（奉每及大吉林）山下誠一（吉林日報）兒玉多一（新京日日）

高橋製材所の事業充實

【敦化支局發】敦化木材界に於て雄飛しつゝある高橋製材所では主任山代傳吉氏の健實なる活動によつて年々業績を擧げてゐるが今回同製機工場へ敦化驛より引込線を建設す

吉林領警の檢黴施行

【吉林支局發】當地領警署に於ては藝酌婦の保健衞生智識の向上を圖る見地から全部の藝酌婦を四日午後金花の大廣間に集め六ヶ條より成る藝酌婦に對する檢黴施行心得をもれなく各人に交附すると共に中山署長より右に對する種々懇切なる說明を與へたが、同施行心得によれば從來藝妓酌婦に對し一般的に每週一回定期檢黴を施し來つたものを今後は藝妓に對しては滿三十歲以上の者は月一回施行し滿四十歲以上の者と滿二十八歲以上にして滿二ヶ年以上花柳病に罹らざる者其他署長に於て特に免除方を認可せるものは檢黴を省略し、又此他の藝妓に對しては三月間花柳病に罹らざる者は月二回、六月間罹らざる者は月一回に回を減ぜられることになつて居り大に粹な手心が加へられた譯である、但し檢黴回數を減ぜられし者は又は免除者にして花柳病に罹りたる場合は此特典が廢除されること勿論である

小學校授業料の 徵集規程作成
一人當り金七十錢

【吉林支局發】當地日本小學校兒童に對する授業料問題に就いては既報の如く吉林居留民會に於て一時保留の態度を執り研究を重ねて居たが、今回既に中央當局間の折衝を經領事會議の決定を見てゐるので、何れにしても右授業料の徵收は確定的の情勢にありとの見地から、直ちに徵收規定を作成本月の新學年度より徵收を開始するに決定した 而してこれが徵收額は一月學童一人の保護者に對しては金七十錢二名以上を有する保護者に對しては二人目より三十五錢宛を賦課することに決定したが、又徵收方法は公費と同樣民會に於て徵收する筈

朝鮮

朝鮮の綠化事業 實績依然揚らず
貧しい一般民衆の愛林思想

【京城支局發】朝鮮全土の綠化を目ざす記念植樹も三日各地一齊に第二十六回を實施したが、本事業ほど本質的に困難なものはないといふ實例—綠化事業の根本出發點は民衆の愛林思想にあるが折角美しき結果を目ざして植樹しても反面において之を拔取り濫伐の灰と化す者が多ければその實効たるや容易に擧揚は困難である、總督府では民有林の保護だけに千六百名の森林警察隊即ち森林主事同主事補を各道に配してこれが違反者の取締檢擧に任ぜしめてゐるが昨年上半期中の違反件數は實に一萬八千件で森林主事の扱つたもの一萬六百件、産業主事の扱つたもの七千四百餘件となつてをりまた處分內譯は訓戒放免一萬件、即決官署送致一千件 檢事局送致四千二百件、其他となつてゐるが下半期（統計未完）を加へれば一年間の違反は四萬件に達する見込で如何に半島民衆の愛林思想が貧しいものであるかを語つてゐる、なほ甚だしきに至つては制札すらも奪つて焚くといふ實狀である

"匪賊一匹も逃さじ" 果敢な剿匪戰（上）
＝滿洲國軍の武勳輝く！＝

昨秋より本春にかけて續行された滿洲國軍の討匪行は曾つてない好成績を擧げその努力の效果は直ちに治安の上に響いてゐるが、軍政部ではこの勢に乘じて匪賊を潰滅せざれば千歳に悔を殘すばかりと最前線に指令をなし之に應じて前線部隊は「匪賊一匹も逃さじ」をモットーに急追又急追、東邊道榫でん、遼西 濱江安圖、三角地帶各地區に亘つて涙ぐましき剿匪戰を展開した

本討匪行は當分繼續される筈であるが、現在迄に到着せる情報左の如くである

一、東邊道地帶

△騎兵第〇團第〇連長以下は三月二日午後三時葦子を出發し五時頃上夾河（興京西南方六十三粁）に到着、潛伏してゐる匪賊を奇襲して人質四名を奪還した

△騎兵第〇團は密偵の報告により興安縣第七區橫路（興安東北方三十九粁）の東南約十三粁老油廠溝の山寨に王鳳閣の部下旅長双彪以下六十名潛伏してゐる事を探知し、大鮫子溝駐屯の第〇連長は部下を指揮して討伐に向つた、同連は三月四日夜半二時駐屯地を出發し午前五時目的地に到着、直ちに攻擊を開始したが敵匪は頑強に抵抗したが交戰二時間半の後匪首双彪が戰死してからは匪は四散して潰走した、匪の戰死は匪首双彪及びその妻等五名、負傷者多數の見込鹵獲は拳銃二

△臨江騎兵第〇團長の指揮する部隊は腰溝（臨江東北二十二粁）に於て三月五日萬順匪と交戰中急援隊を併せて同匪を攻め八名を斃して擊退したが、我軍には兵一名の負傷者があつた

△三月六日午前八時頃歩兵第〇團の第〇連は本溪湖第四區爾嶺子（城廠西北十八粁興東縣境）附近に於て匪首小九勝、雲中飛、北京の約八十名と交戰三時間の後匪五六名を斃して四散潰走させた

△騎兵第〇團の第〇連は三月六日午後五時葦子（興京西南五十八粁）を出發し、午後八時梯爾溝（興京西南五十粁の南方山地に於て匪首九勝軍、金龍、紅槍會匪の約五十名と交戰し、敵四名を殺し、人質二名を奪回拳銃一、同彈藥四〇を鹵獲した

△歩兵第〇團第〇連は三月八日午前十一時頃寬デン縣高禮木子（靉陽邊門北方十二粁）附近に於て匪首程司令と稱する三百の匪と交戰四時間激戰をくりかへし四名を斃し十數名を傷けた

△歩兵第〇團第〇連及び第〇機關銃連は三月十日午後三時半頃寬デン縣第二區小毋豬溝（寬デン西北方四十粁）附近に於て北國海山の合流匪約百と一時間交戰し匪二名を殺し六七名を傷けゴム靴二〇小銃彈藥廿を鹵獲した

△王鳳閣の率ゐる約三百の匪團は通化縣第三區七道溝子溝附近にありとの報を得て混成第〇旅の步兵第〇團長は二ヶ營を指揮して三月十三日午前二時駐屯地を出發し、午前九時半頃入寶欄子溝門に到着すると同時に匪團は我行動を知り山岳を利用して抵抗し六時間の激戰を繰返したが、匪九名を殺し、多數を傷け、小銃一同彈藥百三十六等を鹵獲した我軍には戰死兵一名、負傷の士一、兵三名があつた

△歩兵第〇團の第〇連を率る三月十三日夜十一時快當帽子（通化西方十五粁）を出發し、十四日朝六時頃夾皮溝門に到着したが紅軍獨立第一大隊の三十餘名と遭遇し二時間交戰の後匪首中校大隊長干德餘以下三名を斃した

△伊藤少尉指揮の輝南縣治安隊は騎兵第〇團の第〇連と協力し三月廿日朝九時小東嶺溝（輝南東南四十粁）に於て匪首東來の率ゐる約八十名の山寨を發見し、これと交戰敵四名を殺し、小銃二を鹵獲した

△第一軍管區教導隊第〇連は三月廿一日午前四時快當帽子を出發し午前十時半頃馬保子溝（通化西南約二十粁）附近に於て紅軍李韓兩連長及び文武匪の合流匪約二百と遭遇し、三時間の戰鬪の後敵四名を斃し多數を傷けて東方に擊破しれ

△臨江縣 蟻河駐屯步兵第〇連は臨江縣第三區大洋岔縣城東方三十五粁附近に萬順匪出現の報を得て、三月廿一日午后九時を蟻河を出發し廿二日午前五時大洋岔附近に於て遭遇、三時間交戰し二名を斃し、十數名を傷けし小銃二、拳銃一を鹵獲した

家庭

赤ちゃんの耳は何時頃から聞える？

育兒にとつて必要な知識！

胎教も大切です

母親にとつて何よりも嬉しい事は泣く能力だけしか與へられてゐなかつた一つの肉塊である赤ん坊が、何時の間にか母親の笑顏を微笑んで受容れ、呼びかける慈父の聲を聽取るやうになる事だと思ひます。赤ん坊の耳が何時頃から働き始めるかに就いては意見があります。

或る母親はお產の近づいた日音樂會に行つてゐると、拍手の起る度毎に、腹の中で子供が動くのを感じて、氣味が惡かつたと告白してゐますし、又或る人が矢張り出產間近く母親の入浴してゐる浴槽をトントン叩くと、中にゐる

母親の

腹の一部が目に見えて高まり、やがて靜まるのを發見しました。然し實驗した結果に依りますと、生後三日以前に音に感じた場合は見出せなかつた事になつてゐます。プライヤーは自分の子供が聾でないのが明瞭に解つたのは四日目の後半であつたと書いてゐます。然し二日前の子供が傍で喧しい物音がすると泣出し、拍手をしても泣くと報じてゐる學者もありますので聽覺の醒める最初の時については余り適確に決める事は出來ませんが、生後一週間以內であらうと云ひ得るのです。其の時期は何時であらうとも母にとつて見逃せない事實は聽覺が黎明に達した時、その門戶は一樣に總ての種類の

物音に

對して開かれるのではなくて先づ薄明の中から最初に見出されるものは、實に母親の聲であることです。或る學者が、赤ん坊の頭の頂きに器械を當てて躍動を記錄し乍ら、母親に子供の名を囁かせますと無秩序な脈搏が直ちに鎮靜するのが分りましたが他人の聲や物音では效果がこれ程に示されなかつたと發表してゐます。即ち、赤ん坊の最初に辛うじてつかみ得る聲は自分の母の聲であり、それが如何に弱いものであつても、感覺界の薄明の中で容易に捕へうるのです、この事實は母たる人の誇りと喜びの種にしていいものと思はれます。所で、子供の

教育に

熱心な母親は、此處で直ぐに赤ん坊に音樂の早教育を行つたら―と考へるかも知れませんが、生後一週間も出ないうちから美しい音樂を聽かせたらいい鑑賞家になるであらうとの豫期は全く見當違ひで、殘念な事には赤ん坊の音に對して示す反應の性質は斯うした事柄を否む方向のものであるのです。最初のうちはどんなに快い音でも子供はこれを迎へようとはせずに之を避けようとするのです。この時期には音樂が無駄であるばかりでなく、喘く人形もがらがらの玩具も總て無效です。斯うしたものに少しでも積極的な態度を子供が持つやうになるのは四ヶ月位からなのです。此の頃になれば視覺その他の感覺も可成り充實して來ますから音樂或は材料に依る

早教育

を始めてもいい時期です。胎兒にたとひ聽く力があるとしても、母の體の前で喧しく音樂を奏でて、それに依つて直接に、「胎教」を授けうるものでなく、却つて音樂と否とに拘らず大きな音を受けない樣にしてゐる方が產前の母親にとつては望ましい事であると云はねばなりません

お肌の魅力！ 黑砂糖の洗顏法

見違へる程美しくなる そして手輕に出來る

～春先きの～

春と秋は一年を通じて女性の一番美しく見える時です。多くは寒さの爲めに皮膚が硬くなり夏は暑さの爲に肌が弛み切つてゐるので春や秋ほど肌は綺麗に見えません。これからだんだん暖かになつて參りますと、女性の顏は、誰が見ても美しく

(魅)(力)

のあるものです。だが今まで何の手入もしなかつた肌がポカポカ暖かになつて急に美しく見え出すのではありません。平常から手入しておけば少しも面倒な事なく一寸お化粧した丈でも垢拔けがするものです。お顏の爲によい洗顏の仕方と、家庭で出來る洗顏料として黑砂糖を使用しますとお肌が非常に綺麗になります。

(一)黑砂糖と糠をまぜ合せた洗粉、之は垢もよく落ちますし、洗つた後皮膚が非常にしつとりするので、とかく肌のカサカサになり易い方には理想的な洗顏料です

(二)黑砂糖を擂鉢で少量サラサラになるまで擂りつぶし半々の糠を加へてよく混ぜ合せます。

洗粉の樣に

(洗)(顏)

の度に用ひます。黑砂糖を用ひるのは中にふくまれてゐるアクが肌の爲めによいのでしたがつて黑砂糖もなるべく精製し切れないものの方が效果があります、しばらく此の方法で洗顏を續けてごらんなさい、肌は軟かく、そしてしつとりと艶が出て參ります。

お料理獻立

鯛の丸むし

食べ物にどんな贅澤をなされる方でも、こればかりは文句なしに喜んで召上ること請合ひといふ美味しいものです。

【材料】(五人前)中位の小鯛五尾、ハム又は燒肉十五匁、筍三寸位のもの一本、推茸三つ、葱一本、生姜二株、スープ又は鰹の煮出汁一合、酒大匙五杯、鹽、砂糖大匙一杯

【拵へ方】(1)鯛の鱗をとり腸を拔いて鹽水で洗ひ、水氣を布巾で拭ひとり、兩側の胴の中骨に達する位の切込みを斜に三、四ヶ所づつ入れ、深い皿に載せて淡く鹽をふりつけておきます。(2)別にハムは一寸位の細切とし、筍は短冊に切り、水に浸けて軟げた椎茸は纖切とします(3)そこで鯛の上にハム、椎茸、筍を混ぜてかがせるやうにおきスープと、鹽小匙二杯と、酒砂糖を混ぜ合せた汁を注ぎかけ、葱と生姜の粗切をのせて、そのまま良く沸騰した蒸器にかけ、中火から弱火にして約一時間蒸して出し葱と生姜をとり除いて食卓にのせます。

何にでも使へる 胡麻の炒り方

(主婦のお台所メモ)

【胡麻】は炒り方一つで非常に味の異る物でありますけれども一般からは甚だ不注意に取扱はれてゐるのは惜しい事に思ひます。安價で美味で滋養に富み用途の多い胡麻を合理的に扱つて十分有效ならしめたいものであります。用器は安價なフライ鍋とそれにピッタリ合ふ木の盆とを用意します。又胡麻は一度に澤山買つて洗つて砂を除き乾して貯へおくのであります。さて茶匙一杯の胡麻を手に握り指先にてパラパラとフライ鍋の底一面にひろげて蒔き盆をして火にかけ(一度に多量は不可)パチパチと胡麻がはねて盆に當る音がするのを聞き(長くおけば炭になります)四、五秒間にて予て用意した置いた

【擂鉢】にあけます。これを幾度も幾度もくり返す面白いやうに工合よく早く炒れて一合の胡麻が僅か一分間位で炒れます。一粒も外へはね出す損失がなく、また炒子がなく擂るにも易く。極めて上等の風味になります。

ラヂオ けふの番組

七日(火曜日) (M・T・C・Y新京放送局)

朝

六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操(東京)
六・四〇 中等滿語講座(大連) 講師 秩父周太郎
七・〇〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報(大連)
引續き 朝の音樂(大連)
八・三〇 經濟市況(東京)
九・〇〇 早晨演奏
九・二〇 料理獻立
九・四〇 經濟市況(大連)
一〇・〇〇 家庭講座(大連) 幼兒の保育 今西ツネノ
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況(大連)
一〇・四〇 經濟市況(東京)
一〇・五九 時報(東京)
一一・四〇 ニュース(東京・引續き新京)

晝

〇・〇一 經濟市況(大連・引續き新京)
〇・二〇 晝の演藝(レコード)
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白大演藝(奉天) 一、洛神 二、醉酒 唱 桃紅
一・二〇 ニュース(滿語) 胡琴 岳長奎 二胡 孫長富
一・三〇 成人講座(滿語) 現代青年(五) 服務之須知 滿洲帝國教育會新京分會長 自彊學校長 楊世楨
一・五〇 下午演奏
二・〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二・五〇 經濟市況(東京)
三・〇〇 ニュース(東京・引續き新京)
三・三〇 經濟市況(大連・引續き新京)
四・二〇 ラグビー實況=中繼 グラウンドより中繼 早稻田對滿洲國ラグビー交驩競技會
五・〇〇 子供の時間(東京) 偉人物語 お釋迦樣(一) 脚色並に演出 東京放送童話研究會 關屋五十二

夜

五・二〇 コドモの新聞(東京)
五・二五 氣象通報・番組豫告
六・〇〇 ニュース(東京)
六・二〇 今晩の番組、官廳公示
六・二五 政府公報(滿語)
六・三〇 講演 滿洲に於ける體育特に婦人の體育に就て 文教部學務司總務科 久保田完三
七・〇〇 花めぐり(第二日)(東京) =上野公園清水堂より中繼= 歌謠劇 さくら物狂 池上新三郎・作
七・三〇 新內(東京) 明烏夢淡雪(雪責の段)
七・五五 浪花節(東京) 立身出世二葉の松 春日亭清吉
八・三〇 時報・ニュース(東京)
引續き ニュース
八・四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告
九・〇〇 舊劇(奉天) 女起解 新亞集團戲劇部 郭聖岩 外九名
一〇・〇〇 北滿の時間(哈爾濱)(滿語)

"花めぐり"第二日 歌謠劇「さくら物狂」

栗島すみ子さん等が出演

後七時東京上野公園清水堂より

【原作】池上信三郎
【出演】栗島すみ子 葛城文子
(清元)淨瑠璃 清元志壽太夫 三味線 清元榮次郎
(長唄)唄 杵屋勝五郎 三味線 杵屋佐之助
演出 池田義信

この歌謠劇は上野清水堂から中繼する「花めぐり」の第二夜のものとして新作したもので舞臺を花の上野にとつて一つの抒情詩的な劇を作つたものである。伴奏を清元と長唄を使つてその效果をあげやうとするのである。

【梗概は】…こゝに一人の女があつた。花の吹雪を網をつてすくはうとするやうな物狂ひのさまは、美しいといふにもいたましい姿であつた…これはさる物語の中の女であるがこの女の思ひ子を人買ひのためにさらはれたのであつた。女はその跡を追ひ彼方此方と各地をさまよひ步いてゐるうち、思ひは日夜みだれにみだれて遂に物狂ひとなつてしまつたのであつた。たづねるわが子はあづまの方に在るといふことを聞き、上野の山へたどりついたのである。そしていつも彼女につき添ふてゐた乳母はこの山の僧に若殿のことを語つたのであつた。そこには美しい稚兒がゐた。その稚兒こそは女がたづねるわが子であつた。

謠曲の「三井寺」清元の「角田川」長唄の「賤機帶」等からヒントを得たものである。

東京からの浪花節 "立身出世二葉の松"

春日亭清吉さんの讀切り

後七・五五 東京より

水戶侯の家臣辻文太夫の伜文次郎は若氣の過ちから勘當され、太田在で醫者をしてゐる叔父の世話になつてゐたところ、叔父が急死したので、從兄弟の藤太郎と若い者同志のこと、遊んで一文なしになつてしまつた。近所の魚屋が敷病になつたのを聞き、飲代欲しさから家傳の妙藥があるが一兩持つてくればといひ、ふと眼にとまつたみゝずを水で洗ひ米粒で練つて渡すとはからずも癒つた、しかし禮を述べる魚屋の女房に一兩の工面をたづねると、夫の病を直したさに髮を切つて賣つたと語るので二人は强く心を打たれた、そこで藤太郎は長崎に赴き蘭醫について修行をし京都所司代板倉重矩の病をなほして御殿醫に取立られた、一方文次郎は備中飯山の羽賀一心齋について劍道を學び、奧儀を極めた、その歸途京都三條で狼籍者に取圍まれた駕籠を助けてみると意外にも藤太郎であつた。玆に兩人は互ひに手をとりあつて再會を喜ぶといふ一席。

新內

後七・三〇東京から

明烏夢淡雪 (雪責の段)

淨瑠璃…富士松喜久翁
同…富士松新登太夫
同…富士松妻太夫
三味線…富士松喜久輔
上調子…富士松勝三郎

浦里あとを打ち眺め、淚にくれてゐたりしがエゝ情あるお詞なれど是ばかりはどうも忘られぬお赦しなされて下さんせまだ此上にどの樣な悲しい責苦もしやいとやせぬどうなつても思ひ切れぬいつそ添はれぬものならば一緒に死にたい時次郎さん殺して下んせ死にたいわいのう「きのふの花はけふの夢今はわが身につまされて義理といふ字は是非もなや、勤めする身のまゝならず別れとなれば今更にいなせともなき離際エゝ此苦しみに引かへてアノ二階の三味線は、いつぞや主の居續けに寢まきのまゝに引き寄せて互ひに語る樂しみのこよひに引かへ今頃はどこにどうしてゐるさんすやらとん角添はれぬ二人が身の上ハッア味氣なき浮世ぢやなア「すいた男にわしや命でも何の惜しかろぞ露の身の消へば恨もなきものを「コレみどり嘸そなたはかなしかろおれが憎かろこらへてたも、惡い女郎に使はれて、思はぬ苦しみ堪忍しやこよひにかぎりこの雪は何の報ぞ寒かろかはいやのふイエイエ私は寒うはござりませぬが太郎さんはあの樣に若衆にたたかれさんしたがお前は口惜しうござりませう私も悲しうてならぬわいのふよふ云ふてたもつた其方までもその樣に主を思ふてたもるもの私が心を推量しや何の因果に此樣にいとしいものかさりとては傾城に誠なしとは譯知らぬやぼの口からいきすぎのすいのすい程はまるも强く唯懷しういとしさの愚痴になる程戀しいもの假令この身は淡雪と倶に消ゆるもいとはぬが此世の名殘今一度逢ひたい見たいとしやくしあげ狂氣の如く心も亂れ淚の雨に雪解けて前後正體なかりけり「男はかねて用意の一話腰口にくわえて身をかため忍びしいて屋根傳ひそれと見るよりかなしさのつたえて攪む松ゝ枝も今宵一夜の棧橋と足もそゞろに定めなき「見るに浦里うれしやと悲しさ怖さ危なされに飛び立つばかり思へども身は縛しめの蔦かづら降りつむ雪に閉ぢられて詮方なくも黃鳥の塒たゞよふ計りなり離なく下へ下り立して二人が繩を切りほどき「コレコレ浦里此處で死ぬるも易けれど逃がるゝだけは落ちてみん此塀を越すばかり幸ひこれなる松の枝傳へて行かん諸共と互ひに手早く身ごしらへみどりも共に取りすがる可愛や此子はなんとせんヲ心得たとみどりを小脇に引抱へ甲斐々々しくも時次郎まつの小枝をつばずし梯子となしてさしおろしやうやう三人塀の上浦里にしつかと持たせあたりを見廻しのび返しをひはめし身の上何かいとはん降りんと思へど女の身浦里は胸をすえ死ぬると覺悟極めサア一緒と手を取組んで一跡飛び、實にもつともとうなづきてたがひに目をとぢひと思ひ、ひらりと飛ぶかと見し夢は、さめてあとなく明けがらす、後のうはさや殘るらん。

學藝

滿洲學藝時評（三）
批評の方法論
大内隆雄

滿洲で文藝時評が不振であるといふ文句を屢々耳にする。これは昔からのことで近頃始まつた話ぢやない。かりに、私が批評家代表といふ地位に立たせられるとしたら私は何と言つたらよいのであらうか「そんなら、一體、批評の對象となるやうな作品があるのかね？」

さう訊ねたら、どうだらうか。かれは、若しくはかれらはどんな顔をするか、いや私にはもう今から見えてゐる。

「そんなら、君たちは、作品を何に發表してるのだ！　君たちのパンフットはみんなの所に屆いてるのかね！　同好の士ばかりに配るのが君たちの方法なのかね！　それとも定價ナンボとつけて本屋の店頭に並べるのがモダンなやり方なのかね？」

毒說ならいくらでも吐けるだが思ふに、現在の滿洲文學について一番必要なのは思ひやりのある批評であらう。同情心にあふれた批評であらう慈悲心にあふれた批評の仕方であらう。拙い所を見逃し、いけないところを沈默して、言ひ易いことだけをいかにも當世流に表現するそのやうな批評の方法であらう。

さき頃、滿洲日日新聞に武禮葉之輔、本郷連などなど一にぎりの即製批評家連が、巧みに既往滿洲文藝批評の遺蹟を流用して、むつかしいことを並べた、廻りくどい批評の文章を發表した。私はそれがいけないといふのではない。だが、この忙しい現代に、も少し率直に、判り易く物を言つたらどうだ。さう言ひたい氣持もした。

方法は、私が言ふまでもなく、目的に近づく道である。手段である。私は端的に次のやうに提議しやう。

廻りくどい言ひ方をやめていつそ爆撃機で行け。又は、諷刺詩でゆけ。今のやうなもろ〳〵の作品に對してならばである。

支那では昔から、諷刺文學の發達は相當なものだ。寸鐵殺人は文士のならひと言ひ得やう。

全く、現代に缺けてゐるのは野武士的心構へである。客觀的條件がどうのこうのと言つて、逃避してくだらんことを言ふのが流行批評である。

『作文』の連中は『作文』の連中ばかりで、聯盟脱退を惜しむの辭にいい氣持になつてゐる。『鵠』は寡默、ただその難解な大活字のパンフレットを投げ出す。奉天新聞の寄稿家らは『醫科』の連中と提携してるらしいが、ひとりよがり的なおさまり方である『協和』や『月刊滿洲』への寄稿家は編輯者の鼻息や當選率を偵察してゐる。

批評家代表は言はざるを得ないであらう。だまつてはゐれないやうな作品を書いてくれ。出版屋に賣り付けてもみんなに紹介せずには居られないやうなものを書いてくれ、日本のジャーナリストにも教へてやらずにゐられいやうなものを書いて見せてくれ、と。

伸びろ芽を枯らそうなどといふケチな氣持はない。批評家は饑ゑてゐる。鑛山屋が鑛脈を探すやうな欲求で、新聞をめくり、パンフレットをめくり、原稿を讀んでゐる。日本の雜誌の投書欄にも滿洲育ちの作家の名を探してゐる。批評家を空しく待たせないで貰ひたいものだ。

まあ、この邊で近頃の感想走り書を終らう。（四、二）

"ある對話"
ラヂオ・コメディ「春は來れど」補遺

鰓木沙禮

—（鳥子出て來る）本郷さん
—何？　あ、
—もうそろ〳〵歸らないと、奧に靑が立つてゐますよ
—あ、そうか、そうか。…なる程一時半だ。オイ神田寐すごすといかんから、もう引上げよう、看板だそうだ
—あ、そうか、ぢや、ええとよ。
—お勘定はこゝにあるわ
—ま、いい、神田、先に出ろよ。
—ぢや、鳥子さん、さよなら
—さよなら
—ぢやー花ちゃん、お休み
—さようなら
（二人出て行く）
—さよなら
—お休み
—お休み
（ホール、靜かになり、女たちも影なしーヴイオリンソロ）
—花ちゃん
—え
—何をぼんやりやり立つてるの。話があるのよ、一寸、此方へいらつしやい
—なあに鳥子さん？
—どうしたの、寂しそうにしてホホホ、神田さんて、そんなに好き？……
—まあ 鳥子さん、いやなひと
—いいぢやないのさ、チャンと知つてるわ妾、でも妾偉いと思ふわ、ぢつと自分だけで人を愛しつゞけて行くつてことは、却々出來ないもんだわ
—止してよ鳥子さん、妾悲しくなつちゃふわ
—余計なお節介だと思つて？　ネ、だけど妾そんな氣持ちやないのよ。妾小さい時から女の姉妹がなかつた故か何だか貴女が妹みたいな氣がするのよ。
—鳥子さん、妾ね。ひとりぼりちなのよ。故郷には兄さんがゐるんだけど、義姉さんや小さい子供たちがゐるんだし
—（とつぜん）妾、大變なことを頼まれたんだけど
—誰から？
—神田さんから
—（おどろく）え神田さん？
……
—えゝ、今歸つた神田さんよ
—どんな事をたのんだのよ
—（試すように）あなた、あの人があなたと二人つ切りで話をしたいと言つたら…會ひに行くだけの勇氣あつて……
—勇氣（胸をとゞろかして）だつて、どんな話があるんでせうか
—どんな話つて……駄目よ、花ちゃん、愛し合つてる人たちが、どんな話をするでせうか？　明日のね、午前十一時に大同公園で會ひたいつて言ふの、……どう、一人で行けて？……元氣を出すのよ花ちゃん
—でも妾、何だか恥かしいわ
—何を言つてるのよ、駄目よあんたは…そんなこと言つてちやあ、そんなことをしてたら靑い鳥は永久に逃げてしまふのよ。本郷さんも妾もゐるんだし、大丈夫よ
—（夢遊病者のように）行くわ妾、鳥子さん
—十一時までに行くのよ。そして話が濟んだら、本郷さんのとこにいらつしやい、四人でシネマに行きませうよ
—姉さん、妾なんだか
—まあ姉さんだつて……ネンネーね、あんたわ（レコード『妾のあなた』—二人きゝほれる。春夜深しー
—（獨白）幸福そうね、花ちゃん……羨しいわ、若い人たちはー
—どうして鳥子さん、溜息なんかするの？……あなただつて
—本郷さんがゐるつて言ふんでせう……そうねえ！ね花ちゃん、これは……こゝだけの話なんだけど妾は駄目なのよ
—まあ、どうして……何か譯があるの
—（急に胸迫つて）花ちゃん女つてね、一度靑い鳥を捕へそこなつたら、それつ切りよ。神田さんと花ちゃんはいつまでも仲よくするのよね。妾、まだ誰にも言つてないけど內地のお母さんのところに坊やを一人おいてあるの。妾がよくない男に騙されたばつかりに、母さんにも心配をかけたわ。から……本郷さんには濟まないけど、妾は駄目なの。どんな樂しいことがあつても、ふつと一人で母さんの許にゐる坊やのことを思ふと（泣く）……涙が出て仕方がないの
—姉さん、鳥子さん
—いいの、いいの（寂しく）ホホホホホ、どうしたのかしらね妾…ごめんなさいあなた方の樂しい門出に、こんなことを喋舌つたりして
—（男出て來る）鳥子さんたちまだ起きてたの、電燈消すよ
—あそう、花ちゃん、眠みませう。あした寢すごしちゃだめよ。ネ
—おやすみ、鳥子さん
—おやすみ
（二人去る……暫く、遠くで鳥子の聲が聞へる、物悲しい余韻）
いつか、おぼへた露西亜の言葉
酒がその夜の泪よけ南大連北安達
どうせ死ぬのは支那の國
（完）

般若心經（十七）
鹽谷壽石

文曰「無受想行識」

官場現形記（25）

—第三回の二—

話は二つに分れる。さて錢典史は都に於いてごたごたと數ケ月を過したのであつたが辛ひ一人のよく識つてゐる書辦（書記）が彼のために方法を講じてくれて、以前の事件關係の文學を輕く書き改め、金でもとの官に復せるやうにし、それに色までつけて、引き續き部に出たことにしたのであつた。で程なく、彼は江西省は上饒縣の典史に選ばれたのである。何でも、收入は相當によいといふことで、彼は心中大いに喜んだ。ところが後で又、以前彼の江南での失敗を摘發した知府が今や又江西で藩司となつてゐるといふことを耳にした。一度惡い事をした者の生きる路は狹い、彼は又しても障害にぶつつかつたのであつた。

彼は心中うんざりした。彼の盟弟—さきに錢をやつ男である—の所に行つて相談したば彼の盟弟は何と言ふかと思へば

「そんな事はたあいないさ。わしの家の隣りに住んでゐる徐といふ老人はこの藩台氏の同鄉者だそうだ、去年その藩台氏が上京して陛下の謁見を賜つたとき、徐老もその人を招いて御馳走したもので、わしも陪席したよ。先生たち二人の交際は仲々いいんだ。その席でもあれこれと長いこと話してゐたよ、耳と口とをくつつけてね、何の問題だつたかは判らないが。その后、この藩台の先生が離京ある時にはお伴の者にお別れのしるしとして四兩の銀を持たしてよこしたものさ。」

錢典史はそれを聞くと、

「そんなに仲が好くつて、四兩とは少いぢやないか、もつと澤山寄越すべきものだらうに」

盟弟は顔を一寸赤らめて言つた。

「そりやあどうだか判らないね、或ひは外にもやつたのかも知れんが、わしは知らなかつた。でなきや、大低同鄉の者は四兩でいゝんだらう、あゝいふ風に大官になつた所で一人に厚く一人に薄くつてわけにも行くまい、別な同鄉の者もあるからそれと比べたらね」

錢典史は言つた。

「それはそれとしてさ、わしのことはどうしたものかな？」盟弟は言つた

「慌てる事は無いよ。その內わしが隣りに行つて、百兩もつかへば、その徐老は向ふでうまく聯絡出來るやうに手紙を書いてくれると思ふ。さうすりや譯ないぢやないか」

「手紙一本にそんなに錢が要るのか？」

「とに角せいては事を仕損ずる。兄貴の問題はわしの問題だ。弟分として出來るだけ努力するよ。」

斯ういふ話で、錢典史は再三彼を拜むやうにして頼んで歸つたのであつた。

原來、彼の義兄弟の誓ひをした男といふのは、姓は胡、名は理と言つた。綽名を狐狸精と言つたものである。人柄はよく氣がつく方で、識り合ひも多かつた。何處にでゝ首を突込むことが出來た。今ゝ盟兄の托を受け、その晩直ちに一軒隣りの徐老人の所に出掛けて行き來意を説明したものである。そして言つた文句が「五十兩をお祝ひにあげるといふのですよ、何とか然るべく一通書いて下さいよ。」と言ふのであつた。

徐老人は言つた。

「まあ同鄉つて言へば同鄉だが、さして交際もないぢやないか、どんなに手紙を書いたらいいのかね、又書いた所でうまく行くかね？」

胡理曰く

「そんな事はどうだつて構ひませんよ！金額によつてそれ相應な二三行でいいですよ」（つゞく）

胃病の診斷法も療法も進歩しました
胃酸過多症と胃下垂、胃アトニーの新らしい病理と治療法

醫學の進歩につれて、近來胃の病氣に就ても、胃液や便の檢査、X光線檢査ばかりでなく、手術で腹を開いて胃を直接檢査したり、胃の一部を切取つて顯微鏡で檢査するとか、胃の中に胃鏡を入れ**電氣をつけて胃內をのぞいて見るとか、胃內面の寫眞をとるといふ風に**研究が微に入り細を穿つ樣になつてから、新に發見された事が多くあり、從つて治療法も異常な進歩を示して來ました。

胃酸過多症といへば一般によく知られて、胸やけや酸つぱいゲップなどがあると、すぐそれだと決めてしまふ人がありますが、實は胃潰瘍や十二指腸潰瘍の事も珍らしくなく又胃液の檢査をして見ると本當に胃酸の過多もあるが、中には却て少すぎる者（減酸症）さへ隨分あります。

胃酸過多の爲に症狀が現はれるのは、その多過ぎる胃酸の爲に刺戟されて、胃壁が荒されるからなので、第二次的には胃壁に潰瘍が出來る、といふよりは、胃酸過多症を自覺する樣な人には既に胃潰瘍の出來てゐる場合が多いといふ事が實驗されてをります。

また胃酸の少な過ぎる場合に症狀が現はれるのは、**胃癌が潜伏してゐるとか胃カタルがあるとかして胃粘膜が障碍された場合**つまり、畑が荒れて不毛となり、酸を作る事が出來なくなつた時、そんな症狀を起すのです。

次に胃下垂は、從來仲々多い病氣と見られてゐたが、X光線で檢して見ると、胃が小骨盤の中まで下垂してゐ乍ら、何の苦痛も感じない人が屢々あります。

つまり胃下垂必ずしも病氣ではない事が分つた譯ですが、之に胃弱が加はつて、胃筋の緊張力が弱くなると、症狀を起して來るので、普通に胃下垂と考へられてゐるものも、その症狀の本態は胃弱の爲である事が多いのです。

さういふ事が分つてみれば、胃酸過多症にしろ、胃下垂にしろ、在來の樣な對症療法だけでは、病氣が仲々よくならなかつたといふ理由がよく分りませう。今、胸やけがするから、胃酸を中和すればよいと思つて、アルカリ劑を用ひたとします。然し實際は、酸の過少な場合もあるから、そんな時には反對に症狀を惡化させます。

胃下垂にしても、在來の腹帶だとか、食物を小量づゝ採り、**消化劑で消化作用を助ける等の療法では、所謂保護作用の外に效果を望めず**殊に、胃アトニーなるくせ者があつて、症狀を增惡してゐる事が多いとすれば、自らそれに對する處置がなければならぬ道理です。

かういふ意味から近來、胃酸過多症や胃下垂、また胃潰瘍、胃アトニー等の治療に推奬されるのは若素（わかもと）ですが、之には食慾を進め消化をよくし或は、胃腸の組織細胞に活力を與へて機能を復活させる酵素やビタミン等の諸成分が網羅されて居ります。

だから若素（わかもと）をのむと胃の消化作用が補助されると同時に、分泌機能が正當に復する結果胃酸過多症の人はその症狀が熄まり、胃潰瘍では潰瘍面に細胞が新生されて恢復に赴き、又胃下垂胃弱では胃筋に緊張力が賦與されて、弛緩や下垂が輕快に向ふといふ風に、一つ藥で數々の病によく效果があるのです。

病氣の治り際

百里の道を旅する者は九十里を以て半とすべしとは古人の言ですが、療病の道も同一で、病氣の治り際が一番注意を要する大切な時期です。

結核や胃腸病が、いざと云ふ所でぶり返し、又も病床に呻吟する樣になるのも、恢復期の療養法を誤る事が最大原因ですから醫師は特に注意を拂ひます。

新生物製劑の若素（わかもと）には全身の病弱細胞に活力を與へる多種の榮養素や、之を利用するに必要な酵素が豐富に含まれてゐるので結核や胃腸病者が用ひて、その恢復を早める爲に、適當した藥であります。

便秘の害毒と下劑によらぬ快便法

糞便の內容（顯微鏡像）
a—筋纖維　b—[illegible]　c—上皮細胞　d—白血球　e—i—種々の形の植物細胞、點狀に無數にあるは細菌

毎日

一回づつ便通のあるのが生理上普通であります。ごく手近な例で、小鳥が糞づまりすると、ぢきに死ぬのは御承知の通りで、便通の停滯はそれ程にも一般生物の健康に害を及ぼします。人間は、小鳥ほど極端な危險はありませんが、

つて、幾日も便秘するのは確に病的ですから、等閑にすると恐ろしい結果を招きます。便秘には大體二通りの症狀があつて、一つは汎發性、つまり一種の全身中毒症狀を起し頭痛、目まひ、惡心嘔吐や不眠、神經衰弱、皮膚の吹出物等を誘發しますが、之は元來、吾々の大腸內には

食物

と一緒に入つた細菌が澤山ゐるが、便秘の爲に糞便が停滯すると、それを根城に無數に繁殖して腐敗醱酵させ、その爲めに發生した毒素が、腸壁から血液の中に流れ込んで、全身を廻る爲であります。

その結果、血管を硬化させたり、生殖腺を衰弱させたり、根氣精力を奪ふといふ風に、凡ゆる內臟の組織細胞に中毒して機能を減退に陷らせますので、有名なメチニコフ博士の如きは「便秘者の人に長壽者はない」とまで力說されてゐます。

器管

又局所性の方は腹が張つて重苦しく、ガスが溜り、食慾が阻害される等の症狀が現はれますが、之は謂はゞ第一期の症狀でこの際便通をつける事を怠ると續いて汎發性に移行する事は申す迄もありません。便秘の治療法として、一番よいのは食餌療法で、早朝空腹時に淸水や食鹽水をのみ、腹部を按摩するとか、平素肉類を多食してゐる人では、野菜や果物を多く食べるといふ風に心掛くべきです。

人によつては、便秘が續くとすぐに下劑を用ひますが、下劑で通じがつくのは、腸に機械的の

刺戟

を與へて排便を催させる爲なので、原因たる腸筋の弛緩や痙攣が正常に復した譯ではなく、從つて效果が一時的を免れず、自然と濫用に陷る弊害も考へねばなりません。

新生物製劑の若素（わかもと）は下劑でないのに、之を服用すれば快い便通が得られ、而も腸を丈夫にする效果があるので、素人が便秘を恢復する爲には適切な藥だ、と云はれてゐます。

この藥には腸內の細菌や毒素を殺菌、消毒する整腸作用がある上に、夥しく含まれた酵素やビタミンB等には、食物の消化をよくし衰へた胃腸の機能を活潑にする細胞賦活作用もあるから便秘の原因そのものを治癒に導くことが出來、その結果生理的自然の便通がある樣になるのです。

なほこの若素（わかもと）は東京芝公園大門內際、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入の二種が一日分僅々五、六錢（小兒には一二錢）の廉價で發賣されてゐますが、近來その聲價を利用して效果疑はしい類似品（酵母、ビール酵母劑といふも類似品です）をお薦めする藥店もありますから御注意下さい。

胃腸が丈夫になり
肉つき、體力恢復の喜び
（岡山）吉岡潤

私は生來、胃腸が惡く毎日店の奧にゐて多くの店員を使つて居ります關係上、運動不足と相俟つて胸元が常につかへ、食後息苦しく、藥といふ藥は一應服んでみましたが（中略）——店先にて大賣出しの準備中卒倒して眼が見えなくなりました。手當によつて間もなく意識は確になりましたが（中略）——貴會の「錠劑わかもと」も聽つてゐましたが病勢つのるにつれて、町の藥屋で「錠劑わかもと」を求め牛信牛疑で服用しますと、その內今迄の胸苦しさも次第に氣持ちよくなり、なほ連服してゐると便通が整ひ病氣の事を忘れる樣になりました。その前後の嬉しさ筆舌に盡せません。

その後も服み續けて×瓶目には少し兩頰に肉がつき少し肥え出しました。毎朝、樂になつて手足、つてみますと心氣爽快を覺え、藥も以外に進捗し出しました。今尚、鐵の樣な體軀を造る心算で服み續けて居ります。先日久し振りに生家に歸りますと老母が涙を流して嬉びました。

—【後略】—

富錦路の一角に立つ 錦ヶ丘高女の偉觀
第一期工事は十一月終了
都塵を離れた聖園

新設の錦ヶ丘高等女學校では現在敷島高女のもと圖書教室を二分して校長室および職員室兼事務室とし、一、二年合計二百五十名の生徒を五學級に編成し北側五教室を借り受けて教室に當て、青木校長以下十二名の教職員が苦しい寄り合ひ世帶の中に新進の潑剌たる氣鋭を見せて授業中であるが昭和十三年度には工事日數二年有餘、經費も約百萬圓の近代的大學舍が

竣工

することになつており本年十一月にはとりあへず約五分三の竣成を見る（工費四十五萬圓）新築學舍に引移る事になつてゐる、學校の所在は特別市富錦路では遠く都塵を離れた幽玄な丘陵地帶に建ち、背後には順天公園、更に南嶺一帶の遠望が一眸のうちに眺められると言つた靜かな美しい四圍を有ち子女教育の聖園としては百%の好條件に惠まれてゐるもので錦ヶ丘の校名の由存もこゝにあるわけである

同校の設計圖によれば總延坪一萬二千五百坪校舍はE字型三階建白亞建で一階の六百八十余平方米の大講堂を生徒所持品室、整容室作法室の設置および理科、博物學における講義室と標本室を別個に持つ學校は稀らしいといはれてゐる、青木校長の談になれば廣大な校庭に種々な運動施設は勿論丘陵に植林をなし花園なども造られる筈で更に水泳プール、溫室の計畫もあり新設校奉天朝日高女にも增して立派なものだと言はれてゐる、同校では五月初旬地鎭の祭を行ひ同中旬に開校式を擧行することになつてゐる

故宮地博士以下の三名に 敍勳の御沙汰

國立吉林醫院長宮地博士は助手劉醫師及び周看護婦と共に過般同醫院に入院した發疹チブス患者に附着してゐた媒介虱を研究中三氏とも感染、頭來療養中であつたがその甲斐なく博士は二日他の二氏は十一日遂に逝去した、この尊き醫學の殉職者に對し左の如く敍勳の御沙汰があつた

國立醫院醫官 醫學博士 宮地貞雄 勳三位に敍し景雲章を賜ふ
國立醫院醫員 劉師義 勳七位に敍し景雲章を賜ふ
國立醫院雇員 周興似 勳八位に敍し景雲章を賜ふ

凱旋五將軍に 御紋章附時計、花瓶を御下賜

【東京國通】畏き邊りでは六日參內任務を奏上した南前關東軍司令官に對し御慰勞の思召しにより御紋附金時計一個を、又岩越中將以下四中將に對し御紋附銀花瓶一個づつ夫々御下賜あらせられた

新京中學生徒 十日歸京

北平、天津、青島方面視察中であつた新京中學四年生一行八十四名は上原、三輪、村山三教諭に引率され無事視察旅行を終り來る十日午后二時歸京する

◇……男兒の節句近づく……國都の春空に泳ぐ鯉幟

綜合体育會 附屬地側期成 委員會々議

新京綜合體育館設立附屬地側期成委員會の具體的實行運動に關する打ち合せ會議は六日午後三時から滿鐵地方事務所々長室に於て開催した、出席者新京體育聯盟各幹部社會係高山主事、千葉、佐々木係員等にて劈頭高山主事より前社會主事野村茂理氏が遺された綜合體育館設立趣意書を朗讀且つ今日までの經過を報告し附屬地側期成委員會としての實行運動を討議する前に去月十五日大連に於て創設された滿鐵創業二九周年記念體育館建設促進協會準備委員會新京支部のメンバーを何人に極めるかを一同に諮つた結果支部長武田胤雄、理事地方側大原萬千百、加藤金保、滿鐵側鯉沼兵士郎、吉村寶儀、稻川利一武道方面から商業校佐藤氏の都合六氏、主事高山八十八の諸氏を擧げそれ〳〵承認を求めることゝしいよ〳〵當日の協議會の眼目たる附屬地側期成委員會の實行運動に協議を進め過般ヤマトホテルに於て催された新京體育聯盟に滿洲國體育聯盟代表者會合の席上にて列擧した各役員に對し依囑狀を發し承認を求め關東軍有志、附屬地側、滿洲國側三期成委員會共通の嘆願書を作製し急速に署名捺印を求め各代表者はこれを携へて滿鐵本社に松岡總裁を訪問提出することゝし午後四時半解散した

無敵ラグビー軍迎へ 滿洲國軍陣容成る
けふ待望の鐵桶陣相搏つ日

大連、奉天と連戰連勝の早稻田ラグビーチームは、六日朝七時半、元氣颯爽として入京した。いささかの疲勞だにさへ見せてゐない

今日いよ〳〵日滿對抗戰であるが、滿洲國側に於ても去る二月來の猛練習を完全にその仕上げを了し、只一戰を待つばかりである、おそらく遠征軍の期待に添ひ得る丈の實力を養成し得たものと確心してゐる、何故かなら、出場選手を見ても分る如く、先づ前衞第一戰に、後衞の糸井君を起用して、中野、青木、糸井と並べ、次に、久永、杉野の兩コンビで固め、之に配するに槇島、出井の兩君を以てした恐らく、之丈の選手を前衞に固め得たことは滿洲では始めてのことであらう。ハーフには田中、大瀨の兩君をおいて、前衞、後衞の連絡に遺憾すきを期し、後衞には先に、ニュージランド軍を苦戰せしめた張、小川の兩君を新に加へ、老巧額原、鹿毛、菅谷、山本として十二分の活躍をなさしめてゐるのである陣容の充實と相俟つて二月來の猛練習は、凡ゆるハンデキャップを完全に克服した、遠征軍も元氣であるが滿洲國軍も、張りきつてゐるもう自信をもつて戰を待つばかりである（寫眞は昨日中銀グランドで練習の早大遠征軍）

四百名の有力匪と衝突して 滿軍小部隊全滅
通化より討伐軍急追

【奉天國通】五日早朝安東省輯安縣第八區頭道威子を發した滿洲國軍〇〇名が青溝子に向ふ途中午前七時頃二道威子附近に於て紅軍第六團遊擊大隊教導、滿朝鮮革命軍等約四百名と遭遇、之に應戰したが寡兵如何ともし難く戰死二名負傷四名、行衞不明三十八名を出し全滅的損害を蒙つたが急報により在通化の篠田の隊並に滿軍は直ちに出動日滿兩軍協力して目下該匪を追擊中

南坎附近一部落 匪襲さる

【奉天國通】六日午前一時廿分頃安奉線南坎驛北方一部落に匪首不明の匪約三十襲擊、放火掠奪を恣にし人質十二名を拉致逃走した、急報に接し通山關守備隊〇名は直ちに出動目下追擊中

自宅前から 自轉車が瀨々失せる

自宅前においてあつた自轉車を十五、二十分の僅かの間に盜まれたといふものが最近非常に多く自轉車專門の泥棒が市中に橫行してゐるので警察當局も犯人檢擧につとめてゐるが未だ擧がらずきのふ一日で轉車盜難屆が次の六件もあつた

▲町二丁目卅七番地吉應善は午後二時朝日通り三一商會前で永樂町三丁目十七番地大滿旅館方崔鐘喜瓦は自宅で▲三笠町二丁目十一番地河村久市氏は午後三時頃自宅前で▲富士町二丁目十四番地大隈淸元氏も自宅前で▲祝町三丁目青陽ビル內丸岡商店も午後七時半ごろ自宅前でいづれも窃取された

泥棒出前御用

元浪花すしの出前持ち山海關生れ高有銘（二三）はさる二月中ごろ約百圓を集金橫領して料理屋で遊興し解雇され、去る三月でつち生洲の出前持ちに傭はれ中同月十七日二十餘圓を集金、出前を持つたまゝかへらず自轉車は料理屋に賣り飛ばし、すし皿二枚は鐵道北の自宅に隱しおきそのまゝハルビンへ逃げ五日新京へ舞戾り再び大連に高飛びせんと六日午後三時五十分新京驛で列車に乘り込まんとするところを新京署岩田刑事に逮捕された

自轉泥逮捕さる

朝鮮平安北道生れ住所不定無職朴庸春（二三）は最近頻發する自轉車盜難事件の被疑者として新京署司法係で搜査中であつたが六日午後三時二十分ごろ西七馬路の朝鮮飲食店林巷明方で飲酒中を新京署鄭刑事、張巡捕に發見され大格鬪の上遂ひに捕縛された、目下嚴重取調中であるが既に自供せる犯行十數件に及びなほ餘罪多數に上る模樣である

中等選拔野球 愛知商優勝 桐生中惜敗

【甲子園國通】中等學校選拔中等學校野球優勝戰は昨六日午後一時より桐生對愛知で開戰、桐生先攻の下に接戰の末左の如く中京の雄愛知商業が優勝の榮冠を獲得した、得點左の通り

桐生 000100000 0
愛知 000100001A 1A
2A—1

弓澤重明氏母堂

滿鐵新京地方事務所建築係弓澤重明氏母堂ケイさんは四日大連で逝去、遺骨は七日午前八時五十分歸京同夜通夜の上八日午後四時長春寺に於て告別式を執行される豫定

五月二日の宣詔記念日を 建國体操日に 全國的に行事擧行

文教部では建國體操を普及し國民體育の向上を圖るため五月二日の宣詔記念日を建國體操日と定め當日は次のやうな催し全國的に擧行することとなた

一、學校、社會教育機關に於る建國體操會の實施
二、建國體操に關する講演會講習會の開催
三、建國體操に關する各種パンフレット宣傳ビラの配布

新京高等女學校 旅行團通信（第三信） 中津から別府溫泉へ

三月廿九日—三十日

ゆるやかな車の動搖に限りない幸福なほゝゑみと小聲がどの瞬間にも溶け合つてひゞく。「未知の街湯の宿に幸あれかし」と心からの祈りとあこがれを持つて中津を四時四〇分出發した。青黄に染めだされた涯しない平野の繪卷物が次第に展開されて行く、今やこの曠野には汽車の進行につれて黃昏の淡い影が纏ひ初めた。和氣の溢れた樣な農村の藁家から夕餉の煙が長閑にゆらめいて見え、街の雜音の交響樂は次第にうすれて行つた。

日出に到着するや否や、突然お元氣な聲が聞えた、ふりむくと上下かすりの着物に身を包み、折目正しいはかまをはき、ステッキをごつ〳〵床にひゞかせながら私達の前迄いらつしやつた老人！　はつと眼をみはる。

「皆さん、お久しゆう、私が倉持新式旅館の六十一才の青年です。ようこそいらつしやいました。お迎へに參りましたよ。さあ一此の次が別府です

おじぎなすつたお顔を見ると成程おなじみの青年のおぢい樣、前には赤白の大きな𥿻織の紐をぶらさげて…余りのおかしさにくす〳〵笑つてゐると、勇敢なNさんは、つか〳〵と進み出で

「おぢい樣、この赤白の紐は何ですの？」

「うんーこれか、これはね木刈のかはりにしたもので絕對に怒らず、不服も言はぬ樣にしたものです、では貴女私をけつてごらん、たゝいてごらん、ちつともおこりはしまいから」

とNさんの前に腕をまくつてお進みになつた。その御樣子のおかしいこと又どつと笑ひこけた。二時間余の疲勞は車窓よりの自然美と面白い青年のおぢい樣とのお話によつてまぎらされ別府に到着した。

◇…………◇

嬉しさうな叫び聲が四方から起る、別府…第一印象は何となく華やかな美しさを感じたが、又何處となく落ち着いたゆつたりとした趣があつて、私には、たまらなくなつかしく思はれた。

驛には早や私達の宿屋の人らしく、倉持アパート新式旅館と書いた旗を夕空になびかせながら出迎へて下すつた。つかれた重い足を引きづつてゐると目前にはバスが待ちかまへてゐるではないか、喜んで我先にと乘りこんだ。

割府御の街へ—
愛情豐にシテー

と云ふ可憐なガイドガールの美しい聲にみせられて早や旅館前にストップ。

別府名物のお湯にどうぞ〳〵と元氣な青年のおぢい樣の異樣なアクセントのある聲に、早速湯槽に下りた

◇…………◇

何と云ふ澄みきつた奇麗なお湯であらう、私は暫く立つて見てゐた。嬉しさの餘り腰をかゞめて手で湯を掬つて見た、快いあたゝかさが皮膚にふるはせる、私は暫く湯に戯れた、そして心ゆし迄柔かな感觸にひたつた後、全身を靜かにゆつたりと鑛泉に沈めて何と云ぶなめらかさ、吉祥天女の嚢像のふつくらな肉體美を想はせる樣なあたゝかさと柔らかさである。私はうつとりと暫く眼を閉ぢた疲れが刻々に迫つてゆく樣な心持、私は何かしらもつたいなさをかんじた。

皆々のさゞめきの聲をよそに淡い旅情に包まれ二階の手摺にもたれて別府の街を見下した。街はお祭を想はす樣な灯の色のなつかしさ、にぎはしさ、さすがは湯の街だけあつて一面霧の樣な溫氣に包まれ潤んでゐる。しかしその活氣ある街をしつとりと抱いてゐるのは、靜かに橫はる別府灣である。

海に映ずる光の美しさ人魚の踊る樣な黑い海、白砂にたはむれるさゞなみ、沖には漁火が一つ二つ波の間に漂つてゐるあゝ！！

その灯のなつかしさ、ひとしれず泪の浮ぶのをおぼへる私

突然「Yさん何してゐらつしやるの？又センチころがして」「いゝえ、センチなんて、私ー唯少し思ひ出しましたの、幼い日母樣と眺めた夜の海を……」「ねえ、お買物に出ませうよ」「えゝ、そういたしませう」

四五人連立つてあちらこちらと灯の中を泳ぎ廻つた。お店はたいてい名物の竹細工、別府染、湯の花、等々とりどりに美しく人の目をそゝる樣に電氣の光に映えてゐる。皆々お風呂敷一ぱい、うん〳〵うなつて歸宿した。輕いつかれにほつとあたりを見廻すとお土産の荷物がうづ高く積まれてゐる。竹細工のお人形、しぼり染、キャラメル色々らおりンゴ、等の名物かの物がとび出す、終ひうつかり、轉し出して赤くなつて拾ひ廻つたりおしやべりしたり中々のさわぎである。「もうお寢みなさい 明日疲れますよ」の先生のお聲でやうやく皆寢支度にかゝつた今日の感謝と合せて明日の幸をお祈りして私達は先の旅の幻想を夢みながら快い眠りにおちて行つた。

◇…………◇

電み軋る不氣味な響に意識を力に還された。私の夢の跡を追ふ樣に兩手を伸した。カーテンの隙間から差込んでゐる光線が指につゆら〳〵とゆらめいた綺な朗ろかな三十日の朝である。軟かな床をさらりと滑り窓のカーテンを颯つと開けたコバルト色の空の下に展開された赤裸々な別府の沈默の底にあつた、街もいつかは朝の汚れに再び活動を始めて元のふくれた都にもどつた。

和やかな乳色を帶びた美しい朝食の後、午前十時より地獄廻りに出かけた、自動車は右に海左に山を眺めながら別府灣に沿つて矢の如く走る、口笛吹きたい樣な愉快さである。初血の池地獄を見た、眞赤な泥土の上に湯が漲つてゐた、名稱としてタホルを朱色に染めて賣つてあつた。

海地獄に出る、海のように青く澄んでゐるからとのこと。白煙朦々たる中に碧空の樣に澄みきつた色が何とも云へぬ清麗さであつた。かくて別府の五大奇觀を見つくして私達は又バスに乘つて宿へ。六時神戶に向つて出帆、御親切なおぢい樣に見送られつゝ濱邊に急いだ。陽はもう西山に傾かうとしてゐた、うす桃色にかすんだ野山が次第にうす紫に變つてゆく、山の頂がかつと赤くなつた。陽はもう西山に沒した。何と神々しいシーンでせう、私達は音もなく沈んでゆく偉大な太陽に何かしら敬虔な氣持で默禮した。深い印象をあたへてくれた別府よ。一脈の古典味と近代的魅力のルンボ踊る別府よ！湯の都！保養の都！さては觀樂の都よおゝさらば

◇…………◇

校長室に美しく咲く鉢植のつゝじを指し「美しいですなア」と言へば謹嚴な西廣場瀨川校長大きく口を綻ばして「月並みではあるが「春ですなア」とうれしそう、そしてこれは珍しく打ちとけた次の樣な戀愛論、結婚論を說く「昨夜は靜かにゲーテを想つて見た、天才は一面狂人でもある、十四才にして既に戀を意識し次から次へと女を求めて歩いた、僕には理解出來ないことだ、戀愛は夢であつてはならぬ嚴肅な生活なんだ、僕には曾て戀はなかつた、悲しいかな初戀もないそして今の女房を娶つたが戀愛の氣持は更に動かない、武者小路さんは言つた「夫は妻を忘れ、妻は夫を忘れてゐる時にこそ眞の生活があるんだ」とつまり僕の結婚生活の信條もこれなんだ、子供は七人、ホルモン旺盛と言ふところだね」春の陽ざしがつゝじに黃色く薄れる頃まで熱辯を振ふ瀨川さんであつた

探偵小說 殺人技師（上映上演禁）　森下雨村　蕗場紫水畫

六三 急轉直下（四）

あの男の惚れてゐるのはお前だと思つてゐたといはれて、

「まさか、」

節子は弱々しい微笑を浮べると

「それにあの晩、それ須磨ちやんの殺された晩だつて菱原さんが出てゆくと、あの人、すぐ後を追つて樂屋から出て行つたのですもの。今から思ふと顏色だつて平常とはまるきり違つてゐましたわ」

「ふゝん。」保科は何かほかのことでも考へてゐる風だつたが、ふと思ひ出したやうに、

「時に、菱原といふ男はまだ捕らないのかね？」

「えゝ、まだでせう。だから、警察でも躍起になつてゐるらしいのよ。」そこへまた節子の咲子が入つて來た。

「先生、お電話でございます」

「どちらから？」

「警察の石川さんと仰有いましたが。」

「まあ！さう」節子は一寸顏色をかへた風だつたが、保科と顏を見合せると、すぐ出て行つた。

彼女が出てゆくと、保科は立上つて、例の須磨子の石膏像にぢつと見入つてゐたが、何と思つたか傍へ寄つてそうつとその顏を撫でてゐた。そこへ節子がいくらか昂奮した面持で歸つて來た。

「何だつたね、電話は――？」

彼女の足音を聞くと、あわてゝ椅子に戻つてゐた保科が、さり氣ない樣子で訊いた。

「菱原さんの寫眞が見つかつたんですつて。」

「なに、菱原の寫眞が――。」

「えゝ、須磨ちやんと一緒に井之頭で撮つた寫眞か、變なところから出て來たんですつて。ところが、その寫眞の菱原さんの顏といふのが、警視廳の方でよく知つてゐる顏なので、念のため、あたしにも一度、その寫眞を見てくれといふ話なの。他人の空似なんて嫌だわね。でも、あたしこれから直ぐ行かなければ――。」

果然、警視廳では例の寫眞に氣づいたと見える。遂に譲治の最後の運命が下る日が來たのだらうか

清水檢事は高い熱にうかされて苦しげな息を吐きながら、昏々と深い眠りに落ちてゐた。時々、身悶えするやうな吐息とゝもに、聞きとれぬ囈言をもらしてゐる。

その枕頭に譲治と、絹代の二人が打沈んだ樣子で付添つてゐた。

「まだ病名はわかりませんの」

絹代はやつれた老檢事の寢顏を痛ましげに見守りながら、そつと譲治に訊いた。

「分らないのです、どこにもこれといつて悪いところはないやうで、何かひどい精神的な打擊でもうけた故ではないかと、醫者がいつてゐるのですが。」さういふ譲治の顏も、父親に劣らずめつきりとやつれてゐる。絹代は思はず二人から瞳を反らしながら、

「精神的な打擊つて、變ですわね。何かこの頃、そんなことがありまして？」

「さあ、僕にも分らないのですが、何でも、この間の晩、おそく外から歸つて來ると、いきなり玄關に打つ倒れたさうですが、それからずつと、この熱で――。」

「まさか、あのことを――。」

絹代はさういひかけて、慌てゝ口を噤んだ。其時ふいに病人がくわつと眼を見開いたからである。

「譲治――譲治――」老檢事は二言三言低い呻くやうな聲で呟いたが、それきり眼を閉ると、またも嵐のやうな息を吐きつゞけた。

「まあ、どうしたのでせう？」

「囈言です。始終あゝして僕の名を呼びつゞけてゐるのです。」

二人はぢつと眼を見交してゐたが、やがて深い嘆息をついた。